

第8章 精神障害者生活状況調査（通院患者）結果

第8章 精神障害者生活状況調査（通院患者）結果

1. 基本的事項

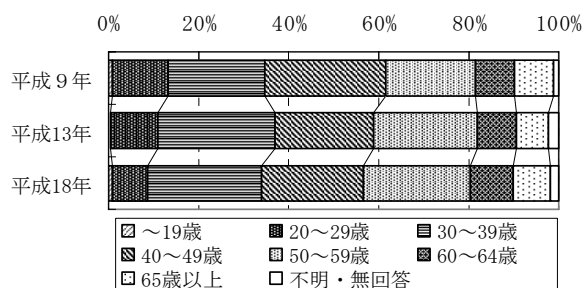
(1) 年齢

問1 あなたの年齢は満何歳ですか。

- ・ 今回調査では、「30～39歳」が25.3%と最も多く、次いで、「50～59歳」が23.7%、「40～49歳」が22.7%と続いている。“30～59歳”の稼働年齢層で71.7%を占めている。
- ・ 経年的には、大きな変化はない。

問1 年齢

	(単位:%)		
	平成9年	平成13年	平成18年
～19歳	0.9	0.5	0.6
20～29歳	12.2	10.3	8.1
30～39歳	21.6	26.4	25.3
40～49歳	26.7	21.6	22.7
50～59歳	20.2	23.0	23.7
60～64歳	8.4	8.9	9.6
65～69歳	8.7	7.2	5.0
70歳以上			3.2
不明・無回答	1.2	2.1	1.8
合計	100.0	100.0	100.0
N	663	751	819



(2) 性別

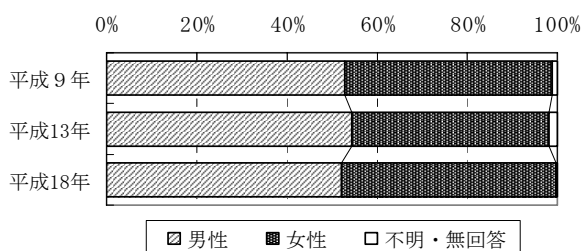
問2 あなたの性別をお答えください。

- ・ 今回調査によると、男性が 52.3%、女性が 47.4%となっており、若干、男性の比率が高くなっている。
- ・ 経年的には、特に顕著な変化は見られない。

問2 性別

(単位:%)

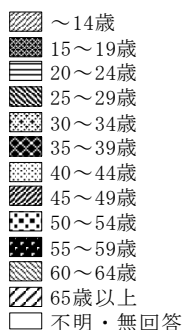
	平成9年	平成13年	平成18年
男性	52.8	54.3	52.3
女性	46.2	43.9	47.4
不明・無回答	1.0	1.7	0.4
合計	100.0	100.0	100.0
N	663	751	819



- ・ 年齢別では、40歳未満までの比率を見ると男性の方が多くなっており、40歳以上の比率は女性の方が多くなっている。

問2 性別 × 問1 年齢

	(件)	(%)	年齢別 (%)													
			~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65歳以上		
1. 男	428	52.3	6.8	11.7	15.2	11.4	10.7	9.6	13.8	8.9	9.1					
2. 女	388	47.4	10.8	12.9	14.2	9.3	8.5	15.5	10.6	7.2						
不明・無回答	3	0.4														
回答者総数	819	100.0	6.1	11.2	14.0	12.7	10.0	9.2	14.5	9.6	8.2					



(3) 配偶者の状況

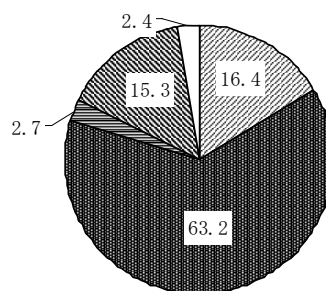
問3 あなたの配偶者（夫又は妻）の有無等についてお答えください。

- ・ 「未婚」が63.2%と最も多く、次いで「夫又は妻 有」が16.4%、「離婚」が15.3%となっている。配偶者のいない人の割合は81.2%と8割を超える比率となっている。

問3 配偶者の状況

(単位:%)

	平成18年
夫又は妻 有	16.4
未婚	63.2
死別	2.7
離婚	15.3
不明・無回答	2.4
合 計	100.0
N	819



夫又は妻有 未婚 死別
離婚 不明・無回答

(4) 世帯の人数

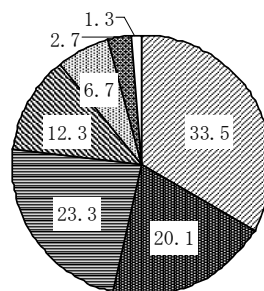
問4 あなたのご家族の人数は何人ですか。あなたも含めてお答えください。

- ・ 「1人」が最も多く33.5%を占め、次いで「3人」が23.3%、「2人」が20.1%、「4人」が12.3%などとなっている。

問4 世帯の人数

(単位:%)

	平成18年
1人	33.5
2人	20.1
3人	23.3
4人	12.3
5人	6.7
6人以上	2.7
不明・無回答	1.3
合 計	100.0
N	819



1人 2人 3人
4人 5人 6人以上
不明・無回答

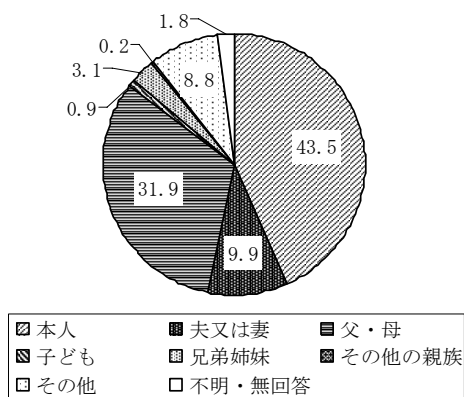
(5) 世帯の生計中心者

問5 あなたのご家庭で主に家計を支えている方（生計中心者）はどなたですか。あなたからの続柄でお答えください。

- ・ 「本人」が43.5%で最も多く、次いで「父・母」が31.9%、「夫又は妻」が9.9%と続いている。

問5 世帯の生計中心者
(単位:%)

	平成18年
本人	43.5
夫又は妻	9.9
父・母	31.9
子ども	0.9
兄弟姉妹	3.1
その他の親族	0.2
その他	8.8
不明・無回答	1.8
合計	100.0
N	819



(6) 医療費の状況

問6 あなたの現在の医療費はつぎのうちどれですか。①, ②, それぞれお答えください。

① 医療費負担

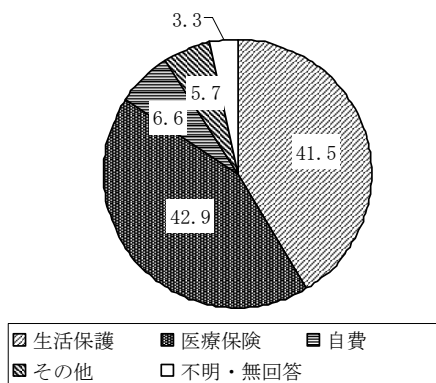
② 精神通院公費（自立支援医療）の受給の有無

- ・ 医療費の状況については、「医療保険」が42.9%で最も多く、次いで「生活保護」が41.5%となっている。
- ・ なお、前々回調査、前回調査との比較（この両年度の回答は複数回答）では、「生活保護」の比率が増加し、「医療保険」の比率が減少する傾向が見られる。

問6① 医療費負担*

	(単位:%)		
	平成9年	平成13年	平成18年
生活保護	29.3	36.4	41.5
医療保険	69.1	52.5	42.9
自費	0.3	2.1	6.6
その他	-	3.7	5.7
不明・無回答	1.7	6.1	3.3
合計	100.4	100.8	100.0
N	663	751	819

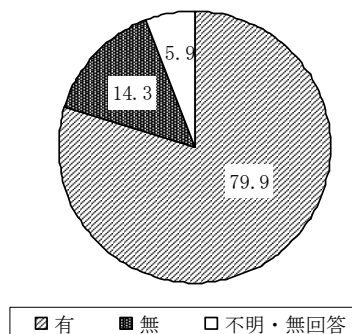
* 平成18年以外は、複数回答



- ・ 精神通院公費（自立支援医療）の受給の有無については、「有」が79.9%、「無」が14.3%となっている。

問6② 精神通院公費（自立支援医療）の受給の有無

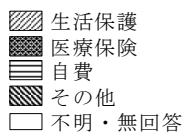
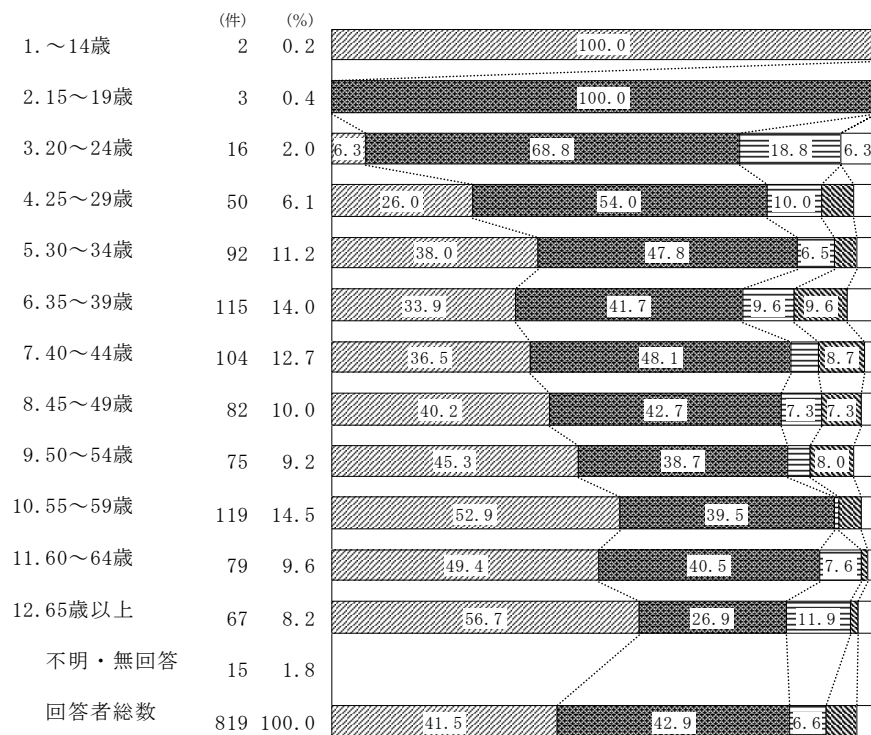
	(単位:%)
	平成18年
有	79.9
無	14.3
不明・無回答	5.9
合計	100.0
N	819



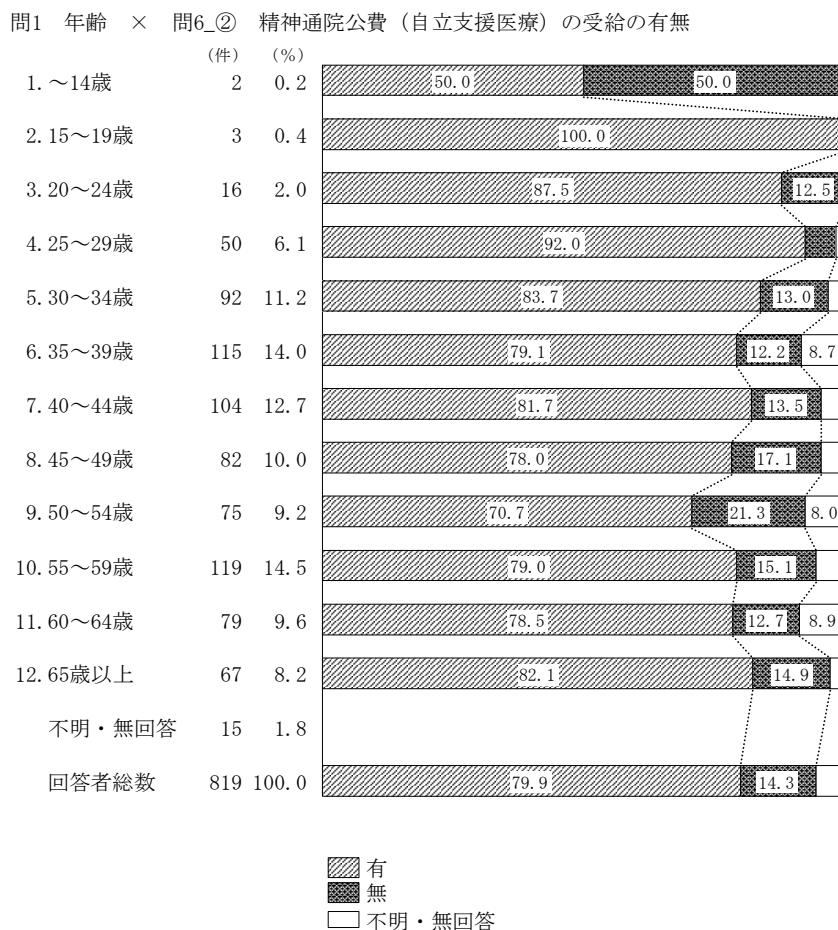
第8章 精神障害者生活状況調査（通院患者）結果

- ・ 医療費負担を年齢別で見ると、年齢層が上がるにつれて「生活保護」の比率が増加し、「医療保険」の比率は減少する傾向が見られる。

問1 年齢 × 問6_① 医療費負担



- 精神通院公費（自立支援医療）の受給の有無を年齢別で見ると、年齢層が上がるにつれて「有」の比率は減少し、「50～54歳」を境にまた増加する傾向が見られる。



2. 精神疾患の種類・程度

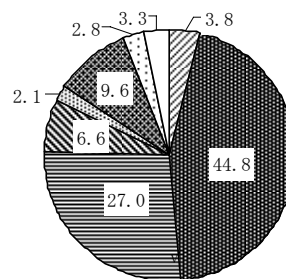
(1) 精神疾患の種類

問7 あなたの精神疾患は、次のどれにあたりますか。

- ・ 「統合失調症，妄想性障害，非定型精神病」が44.8%で最も多く，次いで「気分（感情）障害（躁うつ病・うつ病を含む）」が27.0%，「神経症，ストレス関連障害，身体表現性障害及び解離性障害」が6.6%，「アルコール依存症，薬物依存症」が3.8%となっている。

問7 精神疾患の種類

	(単位:%)
	平成18年
アルコール依存症，薬物依存症	3.8
統合失調症，妄想性障害，非定型精神病	44.8
気分(感情)障害（躁うつ病・うつ病を含む）	27.0
神経症，ストレス関連障害，身体表現性障害及び解離性障害	6.6
てんかん	2.1
わからない	9.6
その他	2.8
不明・無回答	3.3
合計	100.0
N	819



- アルコール依存症，薬物依存症
- 統合失調症，妄想性障害，非定型精神病
- 気分(感情)障害（躁うつ病・うつ病を含む）
- 神経症，ストレス関連障害，身体表現性障害及び解離性障害
- てんかん
- わからない
- その他
- 不明・無回答

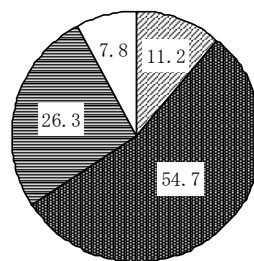
(2) 精神障害者保健福祉手帳の等級

問8 お持ちの精神障害者保健福祉手帳の等級（障害の程度）は何級ですか。精神障害者保健福祉手帳を見て、お答えください。

- ・ 「1級」が11.2%、「2級」が54.7%、「3級」が26.3%となっている。

問8 精神障害者保健福祉手帳の等級

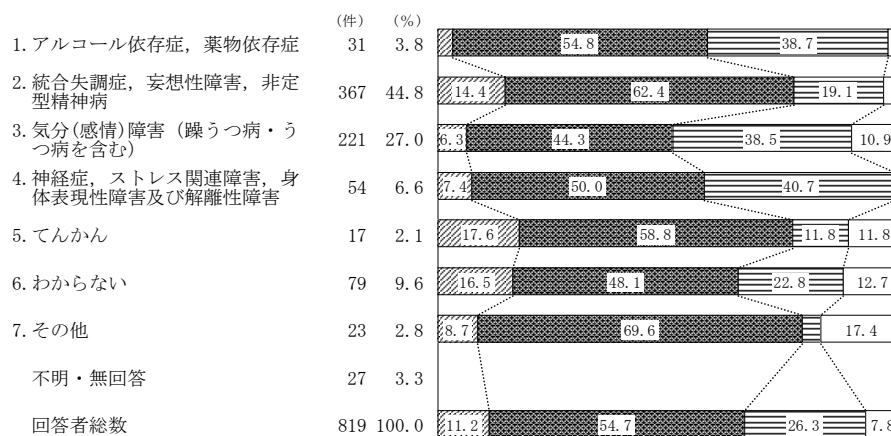
(単位:%)	
	平成18年
1級	11.2
2級	54.7
3級	26.3
不明・無回答	7.8
合計	100.0
N	819



■ 1級 ■ 2級 ■ 3級 □ 不明・無回答

- ・ 精神疾患の種類と精神障害者保健福祉手帳の等級との関係を見ると、いずれの精神疾患の種類においても「2級」の比率が高くなっている。「てんかん」や「統合失調症、妄想性障害、非定型精神病」では、他の疾患に比べ「1級」、「2級」の比率が高くなっている。また、「神経症、ストレス関連障害、身体表現性障害及び解離性障害」では「3級」の比率が高くなっている。

問7 精神疾患の種類 × 問8 精神障害者保健福祉手帳の等級



▨ 1級
■ 2級
▨ 3級
□ 不明・無回答

(3) 身体障害者手帳等の有無

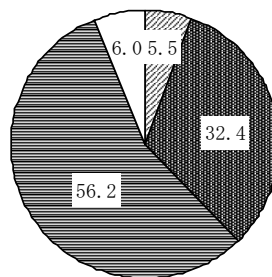
問9 あなたは、次の手帳をお持ちですか。

- ・ 他の手帳の有無については、「身体障害者手帳を保持」が 32.4%、「療育手帳を保持」が 5.5%となっている。

問9 身体障害者手帳等の有無

(単位:%)

	平成18年
療育手帳を保持	5.5
身体障害者手帳を保持	32.4
持っていない	56.2
不明・無回答	6.0
合 計	100.0
N	819



療育手帳を保持
 身体障害者手帳を保持
 持っていない
 不明・無回答

3. 生活の状況

(1) 日常生活動作（IADL）の状況

問10 あなたの日常生活の動作についておたずねします。

あなたは次の(1)～(8)までの動作が一人でできますか。次の各動作ごとに、いずれか1つ、番号を選んでお答えください。

1. 介助の必要なし 2. 一部介助が必要 3. 全部介助が必要

- (1) 食事をする
- (2) トイレを使う
- (3) 入浴をする
- (4) 着替えをする
- (5) 家の中を歩く
- (6) 階段を昇り降りする
- (7) 家事（炊事・掃除・洗濯など）をする
- (8) 寝返りをする

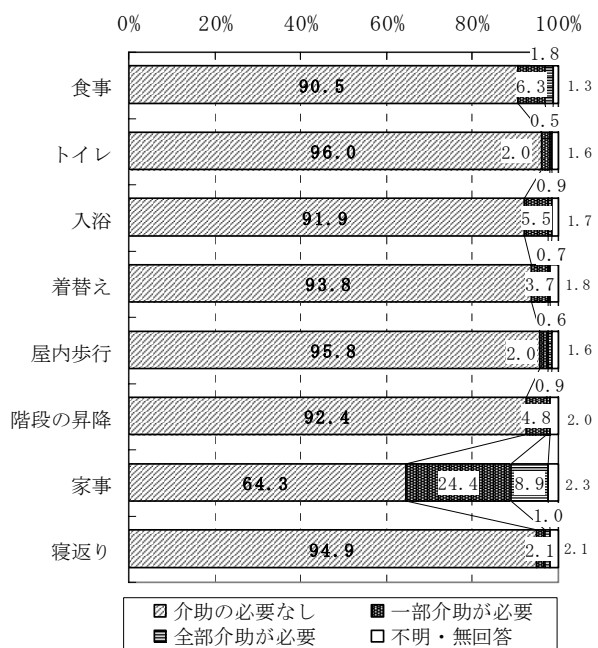
- ・ 日常生活動作（IADL）の中で、「何らかの介助が必要」（一部介助が必要＋全部介助が必要）である人の割合が最も高いものは、「家事」で33.3%である。その他の動作はいずれも10%未満となっている。

問10 日常生活動作の状況

(単位:%)

	食事		トイレ		入浴		着替え		屋内歩行		階段の昇降		家事		寝返り	
介助の必要なし	90.5		96.0		91.9		93.8		95.8		92.4		64.3		94.9	
一部介助が必要	6.3	8.1	2.0	2.5	5.5	6.4	3.7	4.4	2.0	2.6	4.8	5.7	24.4	33.3	2.1	3.1
全部介助が必要	1.8		0.5		0.9		0.7		0.6		0.9		8.9		1.0	
不明・無回答	1.3		1.6		1.7		1.8		1.6		2.0		2.3		2.1	
合計	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0	
N	819		819		819		819		819		819		819		819	

第8章 精神障害者生活状況調査（通院患者）結果



(2) 生活していく上で必要なこと

問11 次にあげるもののうち、あなたが生活していくうえで必要とするものはどれですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査で比率の高い項目は、「話し相手・相談仲間」(68.4%)、「いつでも診察してくれる病院・診療所」(65.9%)、「親身になって相談にのってくれる職員」(58.5%) などである。
- ・ 経年的には、「話し相手・相談仲間」、「いつでも診察してくれる病院・診療所」、「親身になって相談にのってくれる職員」の比率は増加傾向にある。

問11 生活していく上で必要なこと（複数回答3）*

	(単位:%)		
	平成9年	平成13年	平成18年
話し相手・相談仲間	49.5	63.1	68.4
親身になって相談にのってくれる職員	32.7	49.1	58.5
いつでも診察してくれる病院・診療所	51.9	62.6	65.9
ショートステイ	26.4	29.0	15.8
訪問看護ステーションや訪問看護サービス	9.2	14.4	9.9
日常生活支援サービス（ホームヘルプサービス）	16.1	28.5	15.0
住まいの場	-	-	4.3
生活支援員	-	-	11.7
特にない	17.8	7.7	10.7
その他 *1	25.1	45.7	3.5
不明・無回答	-	0.3	2.8
合計	228.7	300.4	266.5
N	663	751	819

* 平成18年以外は、あてはまるものをすべて選択

*1 平成18年以外は、「いつでも相談できる電話相談機関」と「自宅へ弁当を配達してくれる食事サービス」を含む。

- ・ 世帯人数別に見ると、「1人」(単身世帯)では「日常生活支援サービス（ホームヘルプサービス）」の比率が23.4%となっており、その他の世帯よりもかなり高くなっている。また「2人」世帯でも、「日常生活支援サービス（ホームヘルプサービス）」の比率が15.8%と高くなっている。「3人」、「4人」の場合は、「1人」、「2人」に比べて「話し相手、相談仲間」の比率が高くなっている。また、世帯人数が多くなると「ショートステイ」の比率も増加する傾向が見られる。

第8章 精神障害者生活状況調査（通院患者）結果

問4 世帯の人数 × 問11 生活していく上で必要なこと（複数回答3）

上段：実数（件）
下段：構成比（%）

世帯の人数	問4	問11 生活していく上で必要なこと（複数回答3）										不 明 回 答	回 答 者 総 数
		1. 話し相手 ・相談仲 間	2. 親身にな って相談 にのって くれる職 員	3. いつでも 診察して くれる病 院・診療 所	4. シヨート ステイ	5. 訪問看護 ステーシ ョンや訪 問看護サ ービス	6. 日常生活 支援サー ビス（ホ ームヘル プサービ ス）	7. 住まいの 場	8. 生活支援 員	9. 特にな い	10. その他		
1. 1人	180 65.7	154 56.2	181 66.1	37 13.5	37 13.5	64 23.4	15 5.5	31 11.3	27 9.9	8 2.9	10 3.6	274 100.0	
2. 2人	100 60.6	97 58.8	106 64.2	22 13.3	19 11.5	26 15.8	6 3.6	13 7.9	20 12.1	8 4.8	6 3.6	165 100.0	
3. 3人	138 72.3	103 53.9	122 63.9	34 17.8	12 6.3	17 8.9	9 4.7	24 12.6	25 13.1	9 4.7	6 3.1	191 100.0	
4. 4人	82 81.2	68 67.3	73 72.3	20 19.8	10 9.9	10 9.9	1 1.0	13 12.9	8 7.9	0 0.0	0 0.0	101 100.0	
5. 5人	35 63.6	37 67.3	37 67.3	13 23.6	2 3.6	5 9.1	1 1.8	11 20.0	5 9.1	2 3.6	0 0.0	55 100.0	
6. 6人以上	19 86.4	15 68.2	14 63.6	2 9.1	1 4.5	1 4.5	2 9.1	3 13.6	1 4.5	2 9.1	0 0.0	22 100.0	
不明・無回答	6 54.5	5 45.5	7 63.6	1 9.1	0 0.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	2 18.2	0 0.0	1 9.1	11 100.0	
回答者総数	560 68.4	479 58.5	540 65.9	129 15.8	81 9.9	123 15.0	35 4.3	96 11.7	88 10.7	29 3.5	23 2.8	819 100.0	

- 年齢別に見ると、回答者数が少ない25歳未満を除くと、25～39歳の層で「話し相手・相談仲間」が70%を超え、他の年齢層よりも高くなっている。また、60歳以上の層では「訪問看護ステーションや訪問看護サービス」、「日常生活支援サービス（ホームヘルプサービス）」の比率が他の年齢層に比べて高くなっている。

問1 年齢 × 問11 生活していく上で必要なこと（複数回答3）

上段：実数（件）
下段：構成比（%）

年齢	問1	問11 生活していく上で必要なこと（複数回答3）										不 明 回 答	回 答 者 総 数
		1. 話し相手 ・相談仲 間	2. 親身にな って相談 にのって くれる職 員	3. いつでも 診察して くれる病 院・診療 所	4. シヨート ステイ	5. 訪問看護 ステーシ ョンや訪 問看護サ ービス	6. 日常生活 支援サー ビス（ホ ームヘル プサービ ス）	7. 住まいの 場	8. 生活支援 員	9. 特にな い	10. その他		
1. ～14歳	2 100.0	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	
2. 15～19歳	2 66.7	1 33.3	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3 100.0	
3. 20～24歳	14 87.5	10 62.5	9 56.3	5 31.3	2 12.5	0 0.0	1 6.3	5 31.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0	16 100.0	
4. 25～29歳	40 80.0	33 66.0	31 62.0	7 14.0	4 8.0	4 8.0	4 8.0	5 10.0	2 4.0	4 8.0	1 2.0	50 100.0	
5. 30～34歳	69 75.0	59 64.1	64 69.6	16 17.4	7 7.6	11 12.0	4 4.3	10 10.9	6 6.5	2 2.2	2 2.2	92 100.0	
6. 35～39歳	84 73.0	75 65.2	73 63.5	18 15.7	6 5.2	16 13.9	0 0.0	13 11.3	12 10.4	2 1.7	4 3.5	115 100.0	
7. 40～44歳	68 65.4	62 59.6	71 68.3	25 24.0	6 5.8	15 14.4	7 6.7	14 13.5	7 6.7	3 2.9	1 1.0	104 100.0	
8. 45～49歳	61 74.4	49 59.8	55 67.1	8 9.8	9 11.0	11 13.4	5 6.1	7 8.5	11 13.4	3 3.7	2 2.4	82 100.0	
9. 50～54歳	49 65.3	38 50.7	54 72.0	14 18.7	7 9.3	7 9.3	3 4.0	9 12.0	11 14.7	1 1.3	2 2.7	75 100.0	
10. 55～59歳	75 63.0	69 58.0	72 60.5	14 11.8	11 9.2	23 19.3	6 5.0	14 11.8	18 15.1	6 5.0	4 3.4	119 100.0	
11. 60～64歳	47 59.5	34 43.0	51 64.6	12 15.2	12 15.2	18 22.8	3 3.8	7 8.9	9 11.4	5 6.3	5 6.3	79 100.0	
12. 65歳以上	38 56.7	37 55.2	45 67.2	8 11.9	17 25.4	17 25.4	1 1.5	9 13.4	6 9.0	1 1.5	2 3.0	67 100.0	
不明・無回答	11 73.3	10 66.7	10 66.7	2 13.3	0 0.0	1 6.7	1 6.7	2 13.3	4 26.7	2 13.3	0 0.0	15 100.0	
回答者総数	560 68.4	479 58.5	540 65.9	129 15.8	81 9.9	123 15.0	35 4.3	96 11.7	88 10.7	29 3.5	23 2.8	819 100.0	

(3) ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用状況

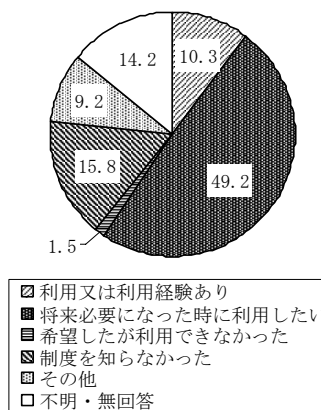
7 利用状況

問12 ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用についておたずねします。あなたはホームヘルプサービスを利用されたことがありますか。

- ・ 「利用又は利用経験あり」が 10.3%、「将来必要になった時に利用したい」が 49.2%、「制度を知らなかった」が 15.8%などと続いている。

問12 ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用状況
(単位:%)

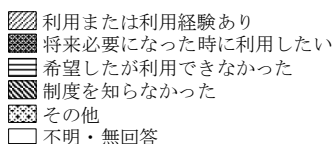
	平成18年
利用又は利用経験あり	10.3
将来必要になった時に利用したい	49.2
希望したが利用できなかった	1.5
制度を知らなかった	15.8
その他	9.2
不明・無回答	14.2
合計	100.0
N	819



- ・ 精神疾患の種類との関係では、「てんかん」で「利用又は利用経験あり」の比率が 17.6% を占め、他の疾患よりも高くなっている。また、その一方で「制度を知らなかった」の比率も 23.5%を占めて高くなっている。その他の疾患では「将来必要になった時に利用したい」が 50%前後の比率を占めている。

問7 精神疾患の種類 × 問12 ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用状況

精神疾患の種類	件数	割合 (%)	利用または利用経験あり (%)	将来必要になった時に利用したい (%)	希望したが利用できなかった (%)	制度を知らなかった (%)	その他 (%)	不明・無回答 (%)
1. アルコール依存症, 薬物依存症	31	3.8	9.7	48.4	6.5	23.5	11.1	22.6
2. 統合失調症, 妄想性障害, 非定型精神病	367	44.8	11.2	49.9	15.0	19.5	5.4	13.1
3. 気分(感情)障害 (躁うつ病・うつ病を含む)	221	27.0	9.0	52.0	15.8	10.9	6.3	10.9
4. 神経症, ストレス関連障害, 身体表現性障害及び解離性障害	54	6.6	11.1	48.1	13.0	11.1	7.7	16.7
5. てんかん	17	2.1	17.6	35.3	23.5	5.9	11.8	11.8
6. わからない	79	9.6	7.6	48.1	21.5	6.3	15.2	15.2
7. その他	23	2.8	8.7	43.5	21.7	21.7	0.0	21.7
不明・無回答	27	3.3						
回答者総数	819	100.0	10.3	49.2	1.5	15.8	9.2	14.2



イ ホームヘルパーに手伝ってほしいこと

問13-1 「問12」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方
ホームヘルパーに手伝ってほしいことは何ですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「食事の支度」（50.5%）、「部屋の掃除・整理整頓」（48.7%）、「話し相手」（34.1%）などの比率が高くなっている。前回調査と比べると、比較可能な項目すべてで比率が減少しているが、これは回答選択肢の数の違いによる影響と考えられる。

問13-1 ホームヘルパーに手伝ってほしいこと〈複数回答3〉*
(単位:%)

	平成13年	平成18年
身体の介助 *1	-	17.0
食事の支度	63.1	50.5
部屋の掃除・整理整頓	57.9	48.7
衣類の洗濯	32.2	18.5
外出の同行もしくは介助 *2	59.8	23.0
金銭の管理支援	19.2	9.2
服薬や健康管理への支援	25.2	11.7
近所づきあいの助言・支援	23.8	15.2
話し相手	54.2	34.1
余暇の過ごし方への助言	21.5	13.8
とくにない *3	2.3	-
その他 *3	0.9	-
不明・無回答	0.5	12.7
合計	360.7	254.4
N	214	487

- * 平成13年は、あてはまるものをすべて選択
- *1 平成18年追加項目
- *2 平成18年以外は「日用品などの買い物の助言、支援」と「通院や公共交通機関の利用の支援」を含む。
- *3 平成18年削除項目

第8章 精神障害者生活状況調査（通院患者）結果

- 精神疾患の種類との関係を見ると、「アルコール依存症，薬物依存症」においては，他の疾患に比べ，「身体の介助」の比率が高くなっている。「統合失調症，妄想性障害，非定型精神病」では，他の疾患に比べ，「衣類の洗濯」，「近所づきあいの助言・支援」が，「神経症，ストレス関連障害，身体表現性障害及び解離性障害」では，「金銭の管理支援」の比率が高くなっている。

問7 精神疾患の種類 × 問13-1 ホームヘルパーに手伝ってほしいこと（複数回答3）

上段：実数（件）
下段：横構成比（%）

問13-1		ホームヘルパーに手伝ってほしいこと（複数回答3）										不明・無回答	回答者総数
問7		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.		
		身体の介助	食事の支度	部屋の掃除・整理・整頓	衣類の洗濯	外出の同行もしくは介助	金銭の管理支援	服薬や健康管理への支援	近所づきあいの助言・支援	話し相手	余暇の過ごし方への助言		
精神疾患の種類	1. アルコール依存症，薬物依存症	4 22.2	10 55.6	10 55.6	2 11.1	5 27.8	1 5.6	1 5.6	2 11.1	4 22.2	0 0.0	4 22.2	18 100.0
	2. 統合失調症，妄想性障害，非定型精神病	37 16.5	114 50.9	111 49.6	51 22.8	49 21.9	22 9.8	28 12.5	41 18.3	76 33.9	30 13.4	24 10.7	224 100.0
	3. 気分（感情）障害（躁うつ病・うつ病を含む）	20 14.8	73 54.1	68 50.4	22 16.3	34 25.2	11 8.1	13 9.6	18 13.3	45 33.3	23 17.0	18 13.3	135 100.0
	4. 神経症，ストレス関連障害，身体表現性障害及び解離性障害	5 15.6	13 40.6	14 43.8	4 12.5	6 18.8	6 18.8	1 3.1	4 12.5	11 34.4	2 6.3	6 18.8	32 100.0
	5. てんかん	1 11.1	4 44.4	3 33.3	2 22.2	3 33.3	0 0.0	3 33.3	1 11.1	4 44.4	2 22.2	1 11.1	9 100.0
	6. わからない	10 22.7	18 40.9	21 47.7	6 13.6	7 15.9	4 9.1	9 20.5	6 13.6	16 36.4	7 15.9	5 11.4	44 100.0
	7. その他	4 33.3	8 66.7	4 33.3	1 8.3	3 25.0	0 0.0	3 8.3	1 8.3	7 58.3	2 16.7	1 8.3	12 100.0
	不明・無回答	2 15.4	6 46.2	6 46.2	2 15.4	5 38.5	1 7.7	1 7.7	1 7.7	3 23.1	1 7.7	3 23.1	13 100.0
	回答者総数	83 17.0	246 50.5	237 48.7	90 18.5	112 23.0	45 9.2	57 11.7	74 15.2	166 34.1	67 13.8	62 12.7	487 100.0

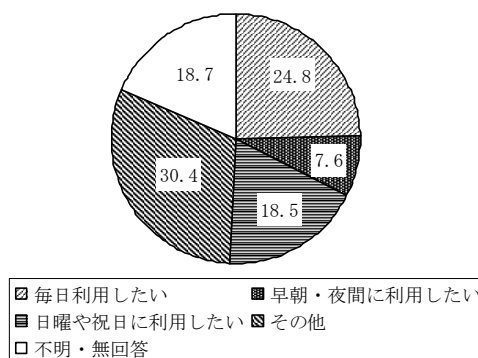
ウ ホームヘルパーの利用希望時間帯等

問13-2 「問12」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方
ホームヘルパーを特にどのように利用したいですか。主なものを1つお答えください。

- ・ 「その他」が30.4%で最も多く、次いで「毎日利用したい」が24.8%、「日曜や祝日に利用したい」が18.5%などと続いている。「その他」の具体的内容としては、「必要なとき」、「週に数回」、「具合が悪くなったとき」などの記述が見られた。

問13-2 ホームヘルパーの利用希望時間帯等
(単位:%)

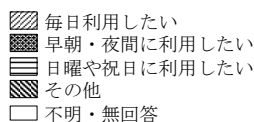
	平成18年
毎日利用したい	24.8
早朝・夜間に利用したい	7.6
日曜や祝日に利用したい	18.5
その他	30.4
不明・無回答	18.7
合計	100.0
N	487



- ・ 精神疾患の種類との関係を見ると、「神経症、ストレス関連障害、身体表現性障害及び解離性障害」では「日曜や祝日に利用したい」が他の疾患よりも比率が高くなっている。また、「気分(感情)障害(躁うつ病・うつ病を含む)」では、「その他」の比率が高くなっている。

問7 精神疾患の種類 × 問13-2 ホームヘルパーの利用希望時間帯等

精神疾患の種類	利用希望時間帯等		利用希望時間帯等 (%)				
	(件)	(%)	毎日利用したい	早朝・夜間に利用したい	日曜や祝日に利用したい	その他	不明・無回答
1. アルコール依存症, 薬物依存症	18	3.7	22.2	11.1	27.8	33.3	
2. 統合失調症, 妄想性障害, 非定型精神病	224	46.0	25.4	8.5	21.0	29.9	15.2
3. 気分(感情)障害(躁うつ病・うつ病を含む)	135	27.7	22.2	6.7	17.0	34.8	19.3
4. 神経症, ストレス関連障害, 身体表現性障害及び解離性障害	32	6.6	21.9	6.3	28.1	15.6	28.1
5. てんかん	9	1.8	22.2	22.2	11.1	22.2	22.2
6. わからない	44	9.0	34.1	11.4	25.0	25.0	
7. その他	12	2.5	25.0	8.3	58.3		
不明・無回答	13	2.7					
回答者総数	487	100.0	24.8	7.6	18.5	30.4	18.7



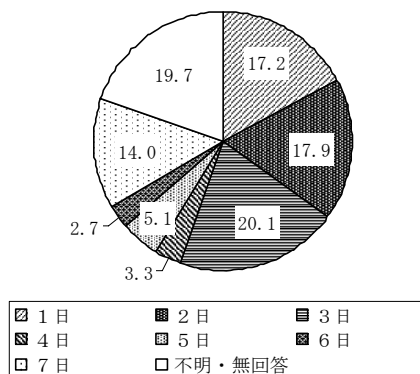
Ⅰ ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数

問13-3 「問12」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方
ホームヘルパーを1週間のうち何日利用したいですか。

- ・ 今回調査では、「3日」が20.1%で最も多く、「2日」が17.9%、「1日」が17.2%などと続いている。
- ・ 前回調査との比較では、“2～3日”で8.6ポイント増加，“4～5日”で0.5ポイント増加，“6～7日”で2.7ポイント増加となっている。全体的に前回調査より、希望日数は増加している。

問13-3 ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数
(単位:%)

	平成13年	平成18年
1ヶ月に1回*1	7.5	-
1ヶ月に2回*1	6.1	-
1ヶ月に3回*1	4.7	-
1日	26.6	17.2
2日*2	29.4	17.9
3日*2		20.1
4日*3	7.9	3.3
5日*3		5.1
6日*4	14.0	2.7
7日*4		14.0
不明・無回答	3.7	19.7
合計	100.0	100.0
N	214	487



*1 平成18年削除項目

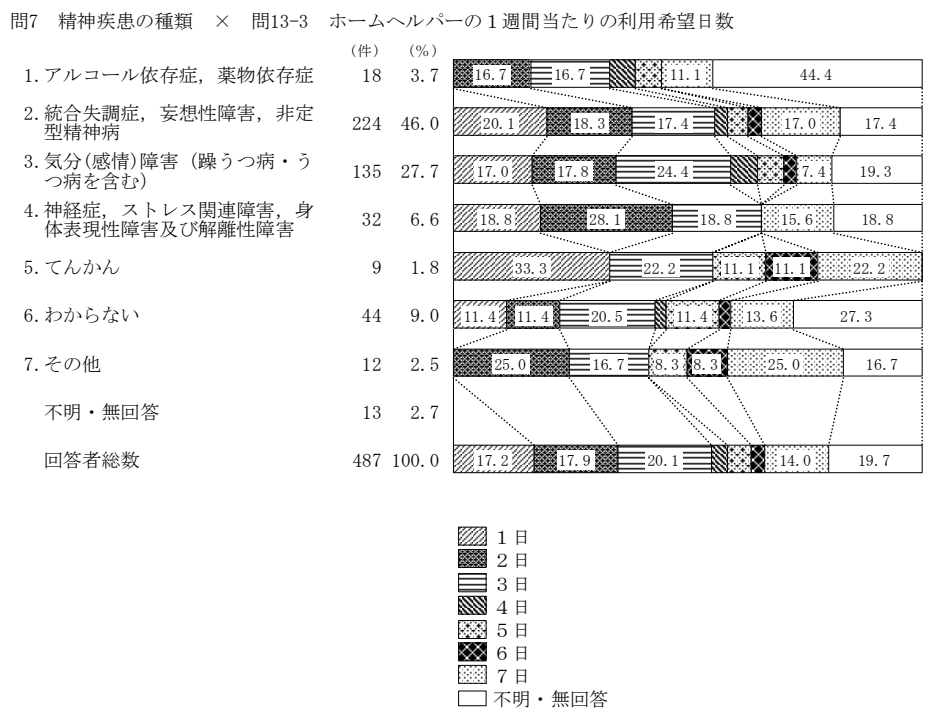
*2 平成13年は「1週間に2～3回」

*3 平成13年は「1週間に4～5回」

*4 平成13年は「ほぼ毎日」

第8章 精神障害者生活状況調査（通院患者）結果

- 精神疾患の種類との関係を見ると、回答件数が少ない「アルコール依存症、薬物依存症」と「てんかん」を除くと、「神経症、ストレス関連障害、身体表現性障害及び解離性障害」では、「統合失調症、妄想性障害、非定型精神病」や「気分（感情）障害（躁うつ病・うつ病含む）」と比べると“週1～2回”の比率が高くなっており、「統合失調症、妄想性障害、非定型精神病」では、“週4～7回”の合計比率が高くなっている。



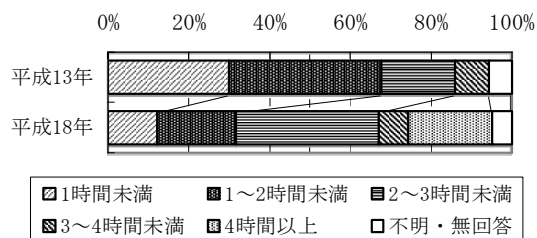
オ ホームヘルパーの利用希望時間数

問13-4 「問12」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方) ホームヘルパーを1日に何時間利用したいですか。

- ・ 今回調査では、「2～3時間未満」が34.5%で最も多く、次いで「1～2時間未満」が20.9%、「1時間未満」が11.1%などと続いている。
- ・ 前回調査との比較では、「1時間未満」が18.8ポイント減少、「1～2時間未満」が17.0ポイント減少、「2～3時間未満」が16.3ポイント増加、3時間以上で5.5ポイントの増加となっており、全体的には前回調査よりも利用希望時間数は増加している。

問13-4 ホームヘルパーの利用希望時間数
(単位:%)

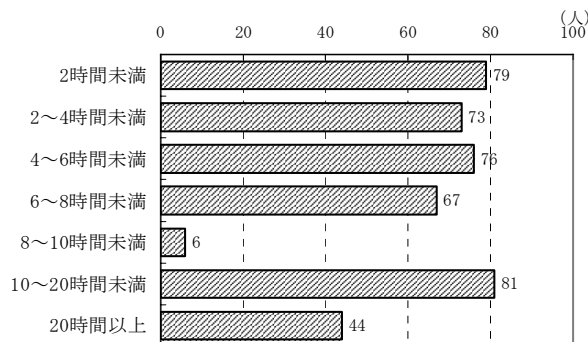
	平成13年	平成18年
1時間未満*1	29.9	11.1
1～2時間未満	37.9	20.9
2～3時間未満	18.2	34.5
3～4時間未満*2	8.4	5.7
4時間以上*2		8.2
不明・無回答	5.6	19.5
合計	100.0	100.0
N	214	487



*1 平成13年は「30分未満」「30分～1時間未満」を足した数値
*2 平成13年は「3時間以上」

- ・ 1週間当たりの利用希望延べ時間分布を見ると、ほぼ70～80人の幅の中に入っており、特定の時間数に偏らず、幅広く分布している状況にある。

ホームヘルパーの利用希望延べ時間分布（週当たり）



* 算出方法：各個人のデータから、利用希望時間数(1日)×利用希望日数を積み上げたもの

4. 外出の状況

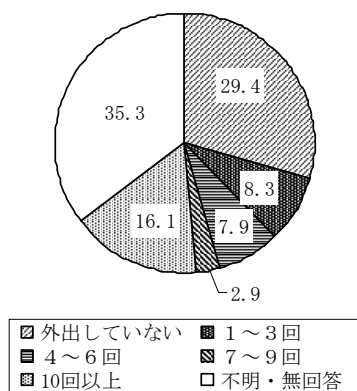
(1) 外出回数

問14 あなたは普通1か月に何回くらい外出されますか。(1)仕事・通学の場合（通所授産施設・共同作業所などへの通所を含む），(2)仕事・通学以外の場合（通院・デイケアを含む），に分けてお答えください。

- ・ 仕事・通学の場合については、「外出していない」が29.4%ある一方で，“月に10回以上”が16.1%となっており，二極化する傾向が見られる。
- ・ 仕事・通学以外の場合については，“月に10回以上”が38.3%，“月に1～3回”が20.0%，“月に4～6回”が18.8%などとなっており，仕事・通学の場合と異なって外出頻度はばらついている状況にある。

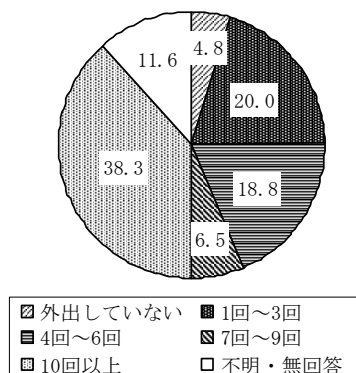
問14(1) 外出回数（仕事・通学の場合）

	(単位:%) 平成18年
外出していない	29.4
1～3回	8.3
4～6回	7.9
7～9回	2.9
10回以上	16.1
不明・無回答	35.3
合計	100.0
N	819



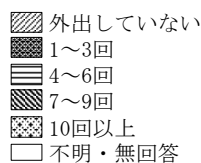
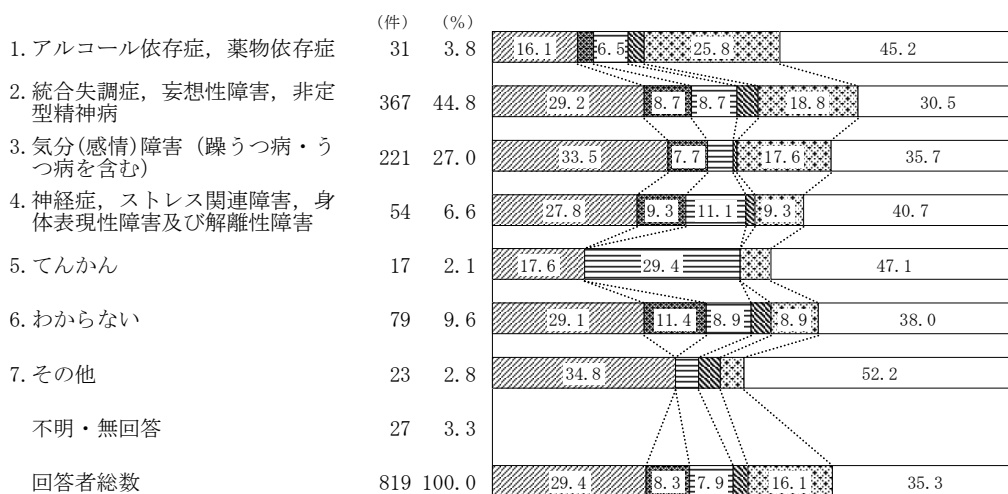
問14(2) 外出回数（仕事・通学以外の場合）

	(単位:%) 平成18年
外出していない	4.8
1回～3回	20.0
4回～6回	18.8
7回～9回	6.5
10回以上	38.3
不明・無回答	11.6
合計	100.0
N	819



- 精神疾患の種類と外出回数（仕事・通学の場合）との関係を見ると、「統合失調症，妄想性障害，非定型精神病」や「気分（感情）障害（躁うつ病・うつ病を含む）」，「神経症，ストレス関連障害，身体表現性障害及び解離性障害」では，「外出していない」の比率が27～34%程度となっているのに対し，「アルコール依存症，薬物依存症」では16.1%と低く，外出頻度が高くなっているのが特徴的である。これは，問17で記載するように「就労状況」と関係が深いと考えられる。

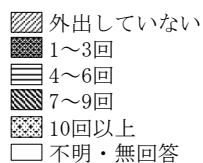
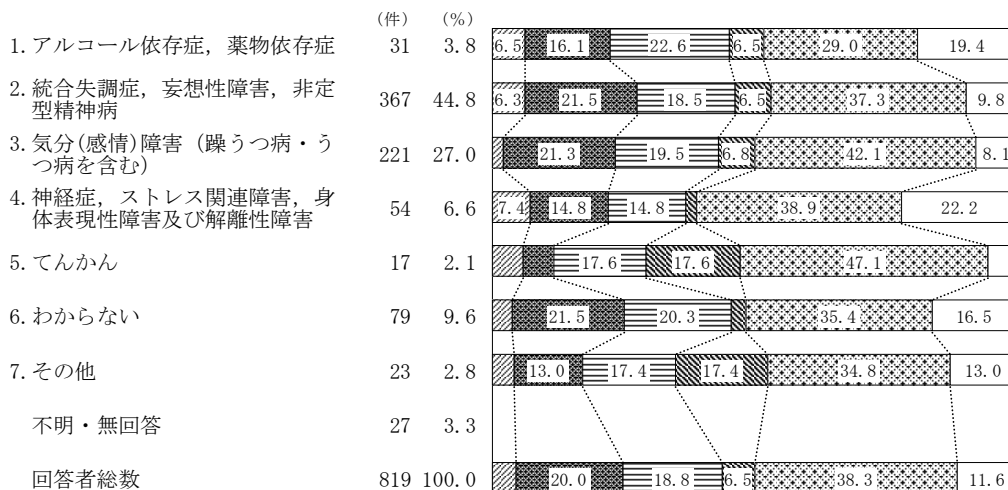
問7 精神疾患の種類 × 問14(1) 外出回数（仕事・通学の場合）



第8章 精神障害者生活状況調査（通院患者）結果

- ・ 仕事・通学以外の場合については、仕事・通学目的と異なって「外出していない」比率はどの疾患の場合も 10%未満と低くなっている。疾患の種類によって傾向は若干異なるが、「てんかん」の場合に“月に7～9回”，“月に10回以上”の比率が他の疾患より高くなっており，外出機会が多いことが分かる。

問7 精神疾患の種類 × 問14(2) 外出回数（仕事・通学以外の場合）



(2) 仕事・通学以外の外出の目的

問15-1 「問14」で「仕事・通学以外(通院・デイケアを含む)で外出した」とお答えの方) その場合、外出の目的は何でしたか。主なものを3つまでお答えください。

- ・「買物」が74.2%で最も多く、次いで「通院・デイケア」が70.7%とこの両者の比率が特に高くなっている。

問15-1 仕事・通学以外の外出の目的〈複数回答3〉
(単位:%)

	平成18年
買物	74.2
知人宅訪問	21.9
レクリエーション	13.3
障害者団体の活動	2.8
ボランティア活動	3.2
町内会・自治会活動	1.9
スポーツ活動	10.8
博物館見学や教養講座参加	10.4
通院・デイケア	70.7
施設の利用	7.0
その他	15.8
不明・無回答	9.2
合 計	241.0
N	685

(3) 外出の際の利用交通機関

問16 あなたは外出されるとき、主に利用される交通機関は何ですか。利用回数の多いものから2つまでお答えください。

- ・「市バス」が60.8%で最も多く、次いで「市営地下鉄」が36.1%、「その他」が18.3%、「タクシー」が15.0%などと続いている。なお、「その他」の具体的内容では、「自転車」、「バイク」、「徒歩」という記述が多く見られた。

問16 外出の際の利用交通機関〈複数回答2〉
(単位:%)

	平成18年
J R	7.8
私鉄	12.3
市営地下鉄	36.1
市バス	60.8
J R・民営バス	12.0
タクシー	15.0
自家用車	11.1
その他	18.3
不明・無回答	2.9
合 計	176.4
N	819

5. 就労（仕事）・収入の状況

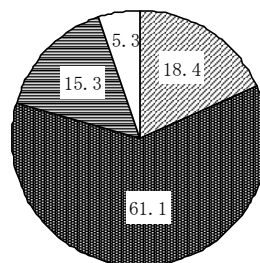
(1) 就労状況

問17 あなたの仕事についておたずねします。あなたは、現在、何か仕事をしていますか。

- ・「仕事をしている」が18.4%、「仕事をしていない」と「仕事をしていたがやめた」を合わせると76.4%となっている。

問17 就労状況

(単位:%)	
	平成18年
仕事をしている	18.4
仕事をしていない	61.1
仕事をしていたがやめた	15.3
不明・無回答	5.3
合計	100.0
N	819

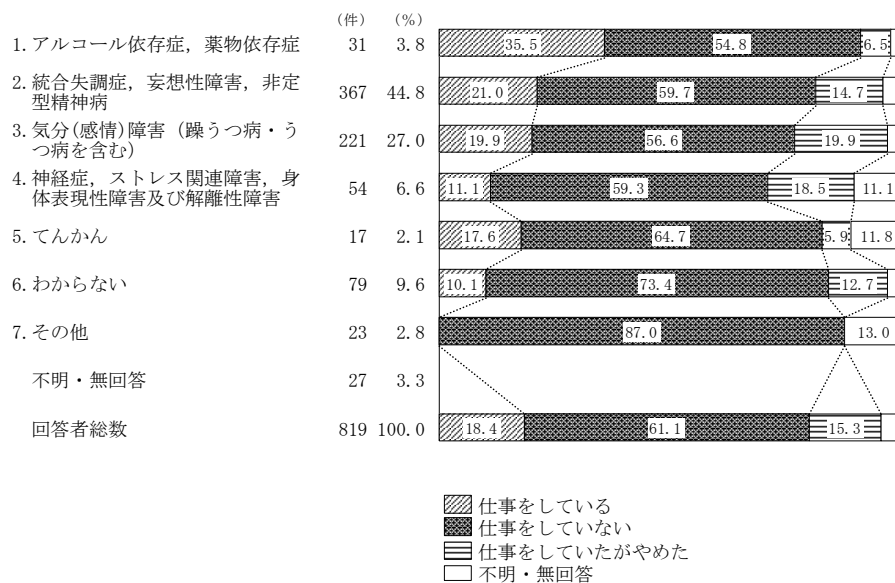


仕事をしている 仕事をしていない
 仕事をしていたがやめた 不明・無回答

- ・精神疾患の種類との関係を見ると、「仕事をしている」比率は、「アルコール依存症・薬物依存症」(35.5%)、「統合失調症、妄想性障害、非定型精神病」(21.0%)、「気分(感情)障害(躁うつ病・うつ病を含む)」(19.9%)、「神経症、ストレス関連障害、身体表現性障害及び解離性障害」(11.1%)の順になっている。

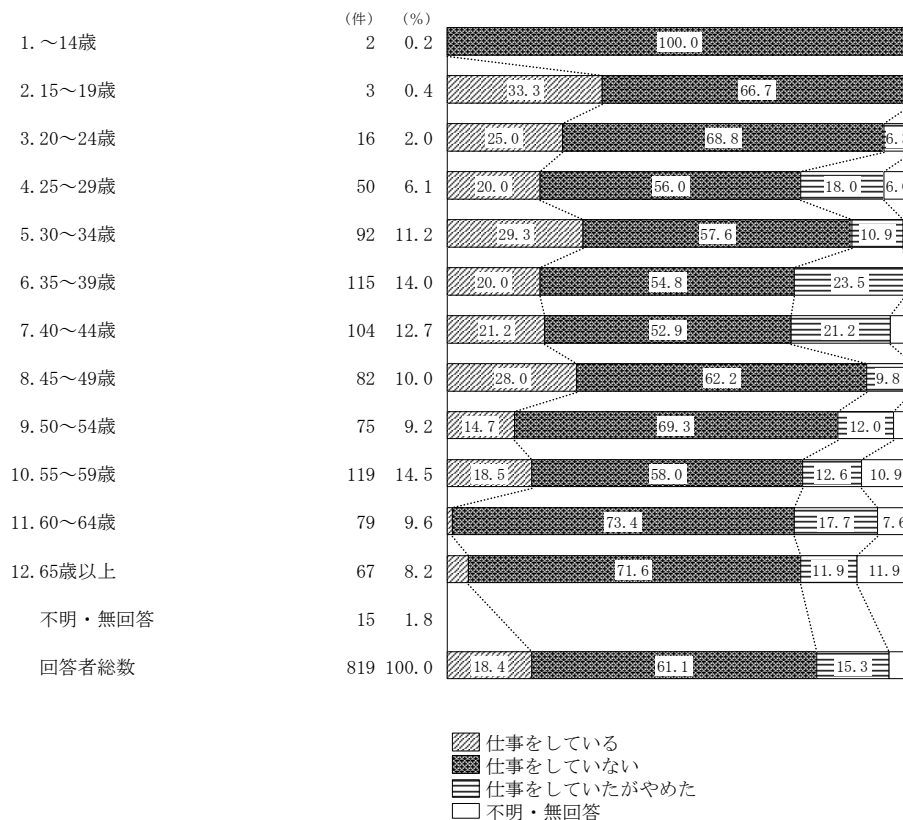
第8章 精神障害者生活状況調査（通院患者）結果

問7 精神疾患の種類 × 問17 就労状況



- 年齢別では、20歳～50歳未満では、「仕事をしている」人の比率は、おおむね20～30%となっているが、50歳代になると10%台となり、60歳以上では5%未満となっている。

問1 年齢 × 問17 就労状況



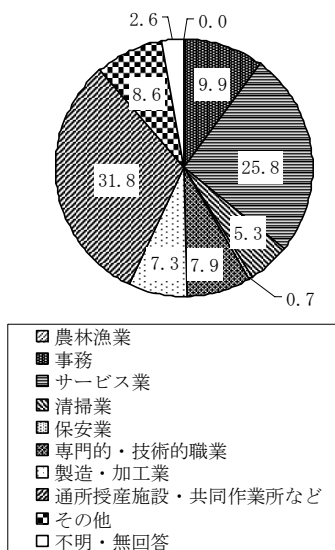
(2) 就労している業種

問18-1 「問17」で「1. 仕事をしている（休職中を含む）」とお答えの方 あなたの仕事は、次の種類のうちどれにあたりますか。

- ・ 「通所授産施設・共同作業所など」が 31.8%で最も多く、次いで「サービス業」が 25.8%で続いている。その他の業種はいずれも 10%未満となっている。

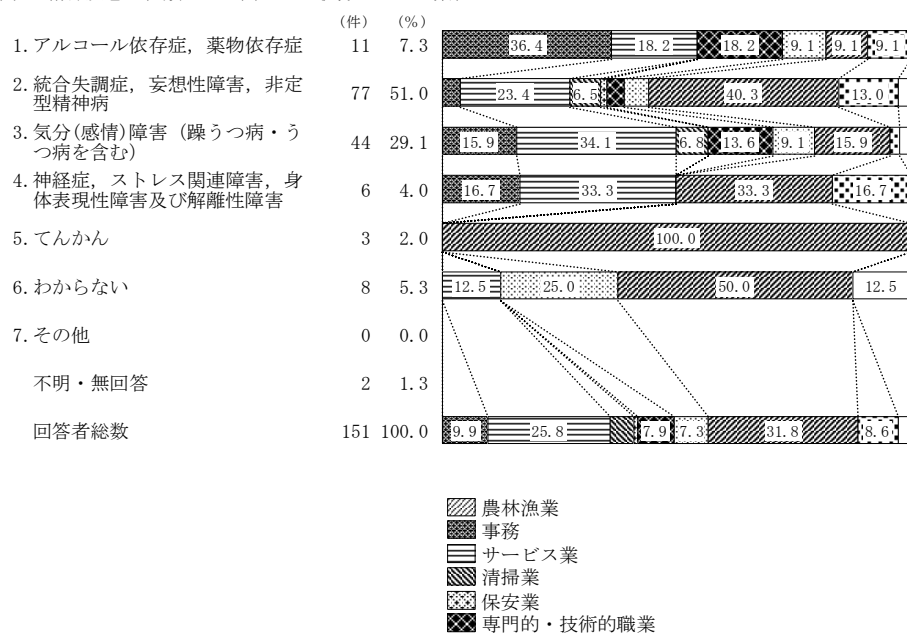
問18-1 就労している業種

	(単位:%) 平成18年
農林漁業	0.0
事務	9.9
サービス業	25.8
清掃業	5.3
保安業	0.7
専門的・技術的職業	7.9
製造・加工業	7.3
通所授産施設・共同作業所など	31.8
その他	8.6
不明・無回答	2.6
合計	100.0
N	151



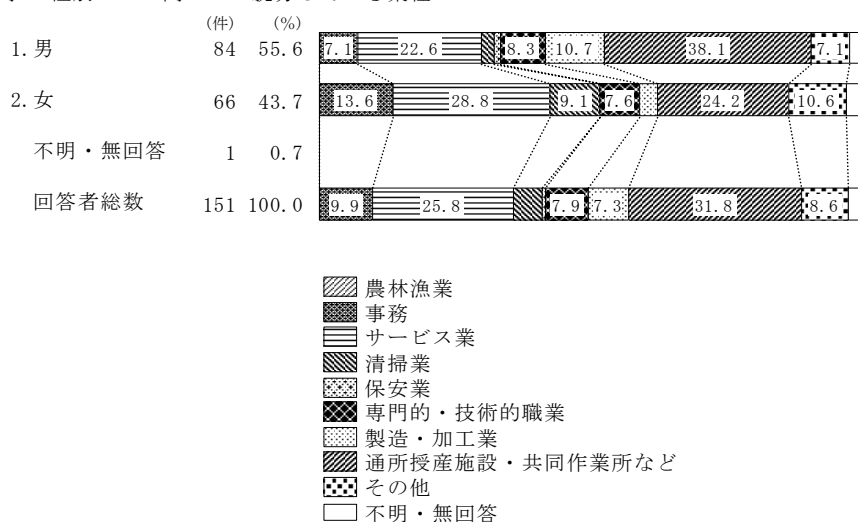
- ・ 精神疾患の種類との関係を見ると、「統合失調症，妄想性障害，非定型精神病」では、「通所授産施設・共同作業所など」の比率が 40.3%を占め最も多くなっている。「気分（感情）障害（躁うつ病・うつ病含む）」では、「サービス業」が 34.1%を占め最も多い。

問7 精神疾患の種類 × 問18-1 就労している業種



・ 性別で見ると、男性では「通所授産施設・共同作業所など」が 38.1%となっており、「女性」(24.2%) よりも比率が高くなっている。女性は男性に比べ「事務」, 「サービス業」, 「清掃業」などの比率が高くなっている。

問2 性別 × 問18-1 就労している業種



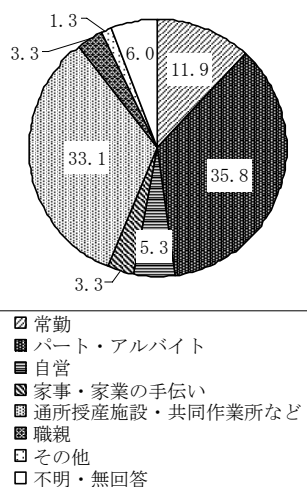
(3) 就労形態

問18-2 「問17」で「1. 仕事をしている（休職中を含む）」とお答えの方あなたのお勤めの形態は、次の区分のうちどれでしょうか。

- ・ 「パート・アルバイト」が35.8%で最も多く、次いで「通所授産施設・共同作業所など」が33.1%、「常勤」が11.9%などと続いている。

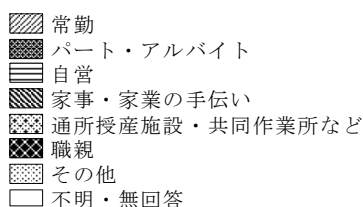
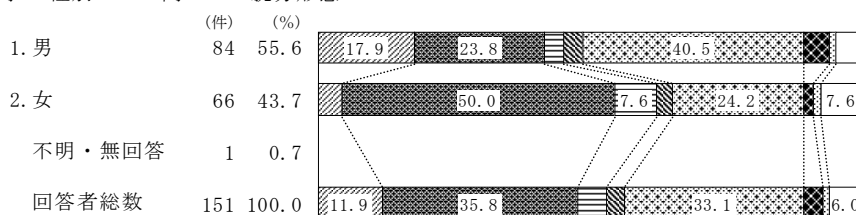
問18-2 就労形態

	(単位:%)
	平成18年
常勤	11.9
パート・アルバイト	35.8
自営	5.3
家事・家業の手伝い	3.3
通所授産施設・共同作業所など	33.1
職親	3.3
その他	1.3
不明・無回答	6.0
合計	100.0
N	151



- ・ 性別では、男性は女性に比べて「常勤」や「通所授産施設・共同作業所など」が多くなっている。女性は「パート・アルバイト」が多く50.0%と半数を占めている。

問2 性別 × 問18-2 就労形態



(4) 企業での就労希望の有無

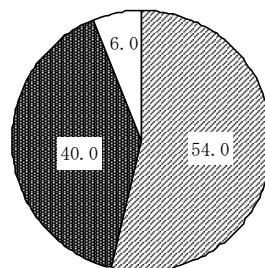
問18-3-1 「問18-2」で、お勤めの形態を「5. 通所授産施設・共同作業所など」とお答えの方は、今後、会社で働くことを希望しますか。

- ・「希望する」は 54.0%、「希望しない」は 40.0%で、今後、会社で働くことを希望する人のほうが若干多くなっている。

問18-3-1 企業での就労希望の有無

(単位:%)

	平成18年
希望する	54.0
希望しない	40.0
不明・無回答	6.0
合計	100.0
N	50



希望する 希望しない 不明・無回答

(5) 勤務先の従業員数

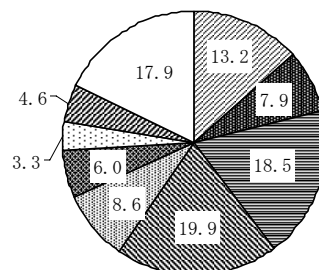
問18-4 あなたのお勤め先の従業員数は、およそ何人ですか。

- ・「20人～29人」が 19.9%、「10人～19人」が 18.5%、「1人～4人」が 13.2%となっている。従業員 30人以下の事業所に勤めている人の比率は 59.5%と全体の 6割近くに達している。

問18-4 勤務先の従業員数

(単位:%)

	平成18年
1人～4人	13.2
5人～9人	7.9
10人～19人	18.5
20人～29人	19.9
30人～49人	8.6
50人～99人	6.0
100人～299人	3.3
300人以上	4.6
不明・無回答	17.9
合計	100.0
N	151



1人～4人 5人～9人 10人～19人
 20人～29人 30人～49人 50人～99人
 100人～299人 300人以上 不明・無回答

(6) 就労の方法

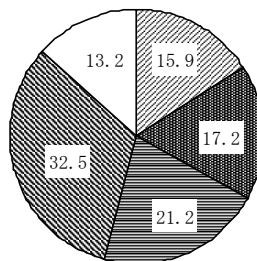
問18-5 「問17」で「1. 仕事をしている（休職中を含む）」とお答えの方 現在のお仕事は、どんな方法で見つけられましたか。

- ・ 「その他」が32.5%で最も多い。「その他」の具体的内容については、「病院の紹介」、「ケースワーカーのすすめ」、「保健所」、「医師のすすめ」、「授産施設のすすめ」などの記述が多く見られた。「その他」以外では「直接、自分でさがした」が21.2%、「親戚や知り合いの紹介」が17.2%、「公共職業安定所（ハローワーク）」が15.9%と続いている。

問18-5 就労の方法

(単位:%)

	平成18年
公共職業安定所(ハローワーク)	15.9
親戚や知り合いの紹介	17.2
直接、自分でさがした	21.2
その他	32.5
不明・無回答	13.2
合計	100.0
N	151



公共職業安定所
 親戚や知り合いの紹介
 直接、自分でさがした
 その他
 不明・無回答

(7) 仕事についての不安や不満の有無

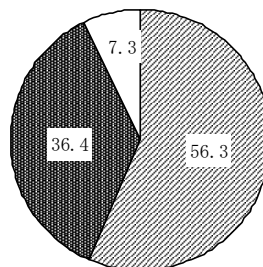
問18-6 「問17」で「1. 仕事をしている（休職中を含む）」とお答えの方 現在のお仕事について不安や不満をもっておられますか。

- ・ 「持っている」が56.3%、「持っていない」が36.4%で持っている人の比率が高くなっている。

問18-6 仕事についての不安や不満の有無

(単位:%)

	平成18年
持っている	56.3
持っていない	36.4
不明・無回答	7.3
合計	100.0
N	151



持っている
 持っていない
 不明・無回答

(8) 仕事についての不安や不満の理由

問18-7-1（「問18-6」で、不安や不満を「1. もっている」とお答えの方）その理由は何ですか。主なものを2つまでお答えください。

- ・「勤務条件が合わない」が40.0%で最も多く、次いで「人間関係が良くない」と「その他」が23.5%、「将来性がない」が22.4%などと続いている。なお、「その他」の具体的内容については、「体調よく続けられるか不安」、「時間外の仕事をさせられる」、「仕事のスピードが遅いので周囲に迷惑をかける」などの記述が見られた。

問18-7-1 仕事についての不安や不満の理由（複数回答2）
（単位：%）

	平成18年
職場の設備が悪い	3.5
通勤上に支障	14.1
障害状況に適さない	18.8
技術が生かせない	12.9
人間関係が良くない	23.5
将来性がない	22.4
勤務条件が合わない	40.0
休みづらい、通院しにくい	17.6
その他	23.5
不明・無回答	0.0
合 計	176.5
N	85

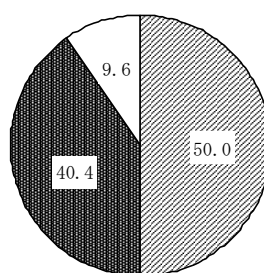
(9) 就労していない人の就労希望

問19-1 「問17」で「2. 仕事をしていない」とお答えの方 あなたは、設備やその他の条件が整えば、仕事をしたいと思われますか。

- ・ 「仕事をしたい」が 50.0%と半数を占め、「仕事をしたくない」は 40.4%で少し比率が低くなっている。

問19-1 就労していない人の就労希望

(単位:%)	
平成18年	
仕事をしたい	50.0
仕事をしたくない	40.4
不明・無回答	9.6
合計	100.0
N	500



■ 仕事をしたい ■ 仕事をしたくない □ 不明・無回答

- ・ 年齢を 60 歳未満と 60 歳以上で区分してみると、「60 歳未満」の場合は、「仕事をしたい」が 56.5%であるのに対し、「60 歳以上」の場合は 25.5%となっており、就労意欲に差が見られる。

問1 年齢 × 問19-1 就労していない人の就労希望

年齢	件数 (件)	割合 (%)	仕事をしたい (%)	仕事をしたくない (%)	不明・無回答 (%)
1. 60歳未満	386	77.2	56.5	33.7	9.8
2. 60歳以上	106	21.2	25.5	66.0	8.5
不明・無回答	8	1.6			
回答者総数	500	100.0	50.0	40.4	9.6

■ 仕事をしたい ■ 仕事をしたくない □ 不明・無回答

(10) 就労希望者の就労していない理由

問19-2-1 「問19-1」で、「1. 仕事をしたい」とお答えの方）現在、仕事を
していない理由は何ですか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 「病気のため」が82.0%で最も多く、次いで「自分の障害に適した仕事がない」が41.2%、「高齢のため」が16.0%と続いている。

問19-2-1 就労希望者の就労していない理由〈複数回答2〉
(単位:%)

	平成18年
病気のため	82.0
高齢のため	16.0
家事・学業に専念	5.6
自分の障害に適した仕事がない	41.2
通勤上の支障	3.6
職場の人間関係	8.4
勤務条件が合わない	9.6
その他	9.6
不明・無回答	2.0
合 計	178.0
N	250

- ・ 年齢別で見ると、60歳未満では「病気のため」が83.9%、「自分の障害に適した仕事がない」が43.1%となっているのに対し、「60歳以上」では、「病気のため」が70.4%、「高齢のため」が55.6%、「適した仕事がない」が22.2%となっている。

問1 年齢 × 問19-2-1 就労希望者の就労していない理由〈複数回答2〉

上段：実 数 (件)
下段：構成比 (%)

問19-2-1		就労希望者の就労していない理由〈複数回答2〉									
問1		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	不明・無回答	回答者総数
		病気のため	高齢のため	家事・学業に専念	自分の障害に適した仕事がない	通勤上の支障	職場の人間関係	勤務条件が合わない	その他	不明・無回答	回答者総数
年齢	1. 60歳未満	183 83.9	24 11.0	13 6.0	94 43.1	8 3.7	19 8.7	21 9.6	21 9.6	4 1.8	218 100.0
	2. 60歳以上	19 70.4	15 55.6	0 0.0	6 22.2	1 3.7	2 7.4	2 7.4	2 7.4	1 3.7	27 100.0
	不明・無回答	3 60.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	5 100.0
	回答者総数	205 82.0	40 16.0	14 5.6	103 41.2	9 3.6	21 8.4	24 9.6	24 9.6	5 2.0	250 100.0

(11) 不就労者の日中の過ごし方

問19-3 「問17」で「2. 仕事をしていない」とお答えの方) あなたは、日中どのように過ごしておられますか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 「デイ・ケアに参加」が45.6%で最も多く、次いで「精神保健福祉サービスは利用せず」が23.2%と続いている。「その他」は36.2%となっているが、「その他」の具体的内容は、「家事・地域活動」、「買物」、「家の中」、「友人と会っている」、「通院・主治医のカウンセリング」などの様々な記述が見られた。

問19-3 不就労者の日中の過ごし方（複数回答2）
（単位：%）

	平成18年
デイ・ケアに参加	45.6
グループ活動に参加	4.6
障害者地域生活支援センターに通所	6.0
こころのふれあい交流サロンに参加	5.2
通所授産施設、共同作業所に通所	3.0
精神保健福祉サービスは利用せず	23.2
その他	36.2
不明・無回答	17.2
合 計	141.0
N	500

第8章 精神障害者生活状況調査（通院患者）結果

- ・ 世帯人数との関係を見ると、いずれの世帯人数においても「デイ・ケアに参加」の比率が高くなっているが、世帯人数が「2人」、「3人」、「4人」では、単身世帯や世帯人数が5人以上の家族と比べてその比率は低くなっている。

問4 世帯の人数 × 問19-3 不就労者の日中の過ごし方（複数回答2）

上段：実数（件）
下段：横構成比（%）

問19-3		不就労者の日中の過ごし方（複数回答2）								
問4		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	不明・無回答	回答者総数
		デイ・ケアに参加	グループ活動に参加	障害者地域生活支援センターに通所	こころのふれあい交流サロンに参加	通所授産施設、共同作業所に通所	精神保健福祉サービスは利用せず	その他		
世帯の人数	1. 1人	100 55.6	10 5.6	12 6.7	12 6.7	5 2.8	35 19.4	61 33.9	28 15.6	180 100.0
	2. 2人	34 32.7	2 1.9	6 5.8	4 3.8	1 1.0	32 30.8	39 37.5	18 17.3	104 100.0
	3. 3人	41 40.2	5 4.9	6 5.9	3 2.9	6 5.9	23 22.5	38 37.3	22 21.6	102 100.0
	4. 4人	25 43.1	2 3.4	3 5.2	4 6.9	1 1.7	14 24.1	20 34.5	10 17.2	58 100.0
	5. 5人	16 50.0	1 3.1	2 6.3	3 9.4	0 0.0	6 18.8	10 31.3	7 21.9	32 100.0
	6. 6人以上	9 56.3	2 12.5	1 6.3	0 0.0	1 6.3	4 25.0	8 50.0	0 0.0	16 100.0
	不明・無回答	3 37.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	5 62.5	1 12.5	8 100.0
	回答者総数	228 45.6	23 4.6	30 6.0	26 5.2	15 3.0	116 23.2	181 36.2	86 17.2	500 100.0

- ・ 年齢との関係を見ると、60歳未満と60歳以上では、傾向に大きな差は見られない。

問1 年齢 × 問19-3 不就労者の日中の過ごし方（複数回答2）

上段：実数（件）
下段：横構成比（%）

問19-3		不就労者の日中の過ごし方（複数回答2）								
問1		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	不明・無回答	回答者総数
		デイ・ケアに参加	グループ活動に参加	障害者地域生活支援センターに通所	こころのふれあい交流サロンに参加	通所授産施設、共同作業所に通所	精神保健福祉サービスは利用せず	その他		
年齢	1. 60歳未満	171 44.3	17 4.4	24 6.2	22 5.7	14 3.6	92 23.8	138 35.8	70 18.1	386 100.0
	2. 60歳以上	53 50.0	6 5.7	6 5.7	4 3.8	1 0.9	22 20.8	39 36.8	14 13.2	106 100.0
	不明・無回答	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	4 50.0	2 25.0	8 100.0
	回答者総数	228 45.6	23 4.6	30 6.0	26 5.2	15 3.0	116 23.2	181 36.2	86 17.2	500 100.0

(12) 就労経験者の就労をやめた理由

問20-1（「問17」で「3. 仕事をしてきたがやめた」とお答えの方）やめた理由は
何ですか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 「病気のため」が 72.8%で最も多く、次いで「仕事の負担が大きい」が 32.0%、「人間関係がうまくいかない」が 25.6%などと続いている。

問20-1 就労経験者の就労をやめた理由（複数回答2）
（単位：%）

	平成18年
病気のため	72.8
通勤や職場の設備・環境が合わない	2.4
人間関係がうまくいかない	25.6
技術が生かせない	1.6
障害への理解や支援がなかった	14.4
仕事の負担が大きい	32.0
勤務条件が合わない	3.2
解雇された	12.0
その他	14.4
不明・無回答	1.6
合計	180.0
N	125

- ・ 年齢との関係を見ると、「60歳未満」では、「病気のため」が 74.3%で最も多く、次いで「仕事の負担が大きい」が 33.7%、「人間関係がうまくいかない」が 30.7%などとなっている。「60歳以上」では、「病気のため」（68.2%）、「仕事の負担が大きい」（27.3%）、「その他」（27.3%）などとなっており、「60歳未満」に比べて「人間関係がうまくいかない」の比率が低く表れている。

問1 年齢 × 問20-1 就労経験者の就労をやめた理由（複数回答2）

上段：実数（件）
下段：横構成比（%）

問20-1		就労経験者の就労をやめた理由（複数回答2）										回答者総数
問1		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	不明・無回答	
		病気のため	設備・環境が合わない	人間関係がうまくいかない	技術が生かせない	障害への理解や支援がなかった	仕事の負担が大きい	勤務条件が合わない	解雇された	その他	不明・無回答	
年齢	1. 60歳未満	75 74.3	3 3.0	31 30.7	2 2.0	17 16.8	34 33.7	3 3.0	13 12.9	11 10.9	1 1.0	101 100.0
	2. 60歳以上	15 68.2	0 0.0	1 4.5	0 0.0	1 4.5	6 27.3	0 0.0	2 9.1	6 27.3	1 4.5	22 100.0
	不明・無回答	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0
	回答者総数	91 72.8	3 2.4	32 25.6	2 1.6	18 14.4	40 32.0	4 3.2	15 12.0	18 14.4	2 1.6	125 100.0

(13) 就労経験者の日中の過ごし方

問20-2 「問17」で「3. 仕事をしていたがやめた」とお答えの方) あなたは、日中どのように過ごしておられますか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 「デイ・ケアに参加」が 50.4%と半数を超え、次いで「その他」が 36.8%、「精神保健福祉サービスは利用せず」が 35.2%などと続いている。「その他」の具体的内容については、「家にいる」、「訪問看護を受けている」、「家でのおんびりしている」、「散歩に行っている」などの記述が見られた。

問20-2 就労経験者の日中の過ごし方〈複数回答2〉
(単位:%)

	平成18年
デイ・ケアに参加	50.4
グループ活動に参加	4.0
障害者地域生活支援センターに通所	2.4
こころのふれあい交流サロンに参加	4.0
通所授産施設、共同作業所に通所	7.2
精神保健福祉サービスは利用せず	35.2
その他	36.8
不明・無回答	4.0
合計	144.0
N	125

- ・ 世帯人数との関係では、「1人」では「デイ・ケアに参加」の比率が 65.8%と他の世帯人数の場合よりも高くなっている。「2～4人」の世帯では「精神保健福祉サービスは利用せず」の比率が 40%を超えている。

問4 世帯の人数 × 問20-2 就労経験者の日中の過ごし方〈複数回答2〉

上段：実数(件)
下段：横構成比(%)

問20-2		就労経験者の日中の過ごし方〈複数回答2〉								
		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	不明・無回答	回答者総数
問4		デイ・ケアに参加	グループ活動に参加	障害者地域生活支援センターに通所	こころのふれあい交流サロンに参加	通所授産施設、共同作業所に通所	精神保健福祉サービスは利用せず	その他	不明・無回答	回答者総数
世帯の人数	1. 1人	25 65.8	3 7.9	2 5.3	4 10.5	3 7.9	9 23.7	10 26.3	0 0.0	38 100.0
	2. 2人	10 33.3	1 3.3	1 3.3	1 3.3	3 10.0	12 40.0	16 53.3	2 6.7	30 100.0
	3. 3人	15 48.4	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 45.2	13 41.9	0 0.0	31 100.0
	4. 4人	8 53.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3	6 40.0	3 20.0	2 13.3	15 100.0
	5. 5人	5 55.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	2 22.2	3 33.3	1 11.1	9 100.0
	6. 6人以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	回答者総数	63 50.4	5 4.0	3 2.4	5 4.0	9 7.2	44 35.2	46 36.8	5 4.0	125 100.0

第8章 精神障害者生活状況調査（通院患者）結果

- ・ 年齢との関係では、「60歳以上」と比べて「60歳未満」では「精神保健福祉サービスは利用せず」の比率が高くなっている。

問1 年齢 × 問20-2 就労経験者の日中の過ごし方（複数回答2）

上段：実数（件）
下段：横構成比（%）

問20-2		就労経験者の日中の過ごし方（複数回答2）								
問1		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.		
		デイ・ケアに参加	グループ活動に参加	障害者地域生活支援センターに通所	こころのふれあい交流サロンに参加	通所授産施設、共同作業所に通所	精神保健福祉サービスは利用せず	その他	不明・無回答	回答者総数
年齢	1. 60歳未満	44 43.6	4 4.0	3 3.0	3 3.0	9 8.9	40 39.6	39 38.6	4 4.0	101 100.0
	2. 60歳以上	17 77.3	1 4.5	0 0.0	2 9.1	0 0.0	4 18.2	5 22.7	1 4.5	22 100.0
	不明・無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0
	回答者総数	63 50.4	5 4.0	3 2.4	5 4.0	9 7.2	44 35.2	46 36.8	5 4.0	125 100.0

(14) 収入の有無

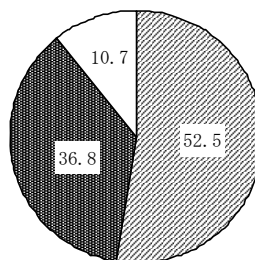
問21 あなたご自身には収入がありますか。

- ・ 収入の有無については、「ある」が52.5%、「ない」が36.8%となっている。

問21 収入の有無

(単位:%)

	平成18年
ある	52.5
ない	36.8
不明・無回答	10.7
合計	100.0
N	819



■ある ■ない □不明・無回答

(15) 収入の種類

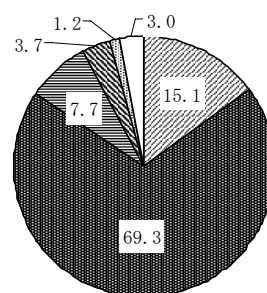
問22-1 (「問21」で、収入が「1. ある」とお答えの方) あなたの収入の種類は次のどれにあたりますか。主なものを1つお答えください。

- ・ 「年金」が最も多く69.3%と約7割を占め、次いで「事業収入や給与・賃金等」が15.1%と続いている。他の収入については10%未満となっている。

問22-1 収入の種類

(単位:%)

	平成18年
事業収入や給与・賃金等	15.1
年金	69.3
手当	7.7
仕送りや家族援助	3.7
家賃・地代・利子・財産収入等	1.2
不明・無回答	3.0
合計	100.0
N	430



■事業収入や給与・賃金等
■年金
■手当
■仕送りや家族援助
■家賃・地代・利子・財産収入等
□不明・無回答

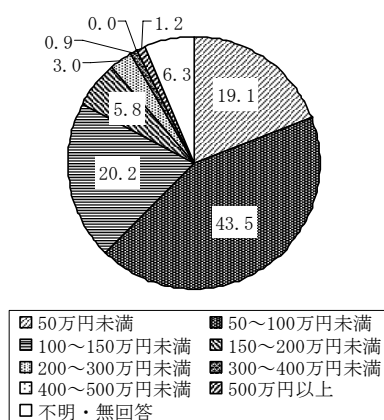
(16) 収入の額

問22-2 「問21」で、収入が「1. ある」とお答えの方) あなたの収入は、おおよそのくらいですか。年収でお答えください。

- ・ 「50万円～100万円未満」が43.5%、「100万円～150万円未満」が20.2%、「50万円未満」が19.1%と続いている。年収が100万円未満の人は全体の62.6%と約6割を占めている。

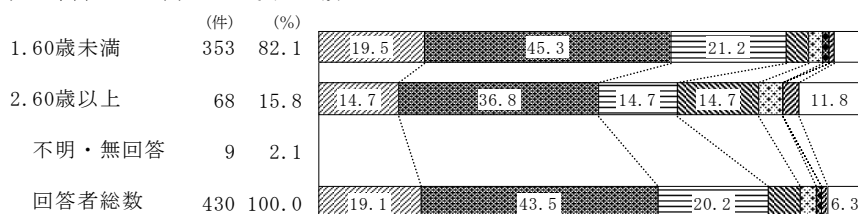
問22-2 収入の額

	(単位:%) 平成18年
50万円未満	19.1
50万円～100万円未満	43.5
100万円～150万円未満	20.2
150万円～200万円未満	5.8
200万円～300万円未満	3.0
300万円～400万円未満	0.9
400万円～500万円未満	0.0
500万円以上	1.2
不明・無回答	6.3
合計	100.0
N	430



- ・ 年齢との関係を見ると、「60歳未満」は、「60歳以上」と比べると100万円未満の層の比率が高くなっている。

問1 年齢 × 問22-2 収入の額



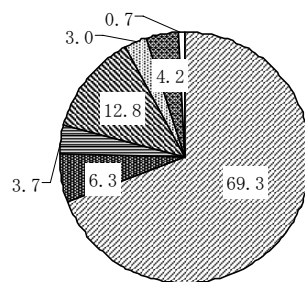
(17) 収入の管理者

問22-3 「問21」で、収入が「1. ある」とお答えの方) あなたの収入は、だれが管理していますか。

- ・ 収入の管理者については、「自分」が69.3%で最も多く、全体の約7割を占めている。

問22-3 収入の管理者
(単位:%)

	平成18年
自分	69.3
夫又は妻	6.3
父	3.7
母	12.8
その他の親族	3.0
その他	4.2
不明・無回答	0.7
合計	100.0
N	430



自分 夫又は妻 父
 母 その他の親族 その他
 不明・無回答

6. 健康・医療などの状況

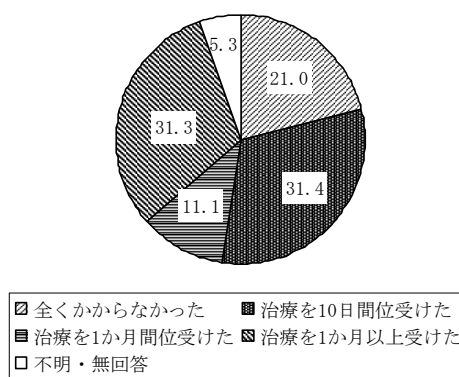
(1) 過去1年間の治療の状況

問23 あなたは、精神疾患を除いて、過去1年間に、病気（かぜ・腹痛・歯痛などの一時的な病気を含む）のために医療機関で治療を受けられたことがありますか。

- ・ 「治療を10日間位受けた」が31.4%、「治療を1か月以上受けた」が31.3%、「全くかからなかった」が21.0%、「治療を1か月間位受けた」が11.1%となっている。何らかの「治療を受けた」人は73.8%と全体の約7割を占め、治療を全く受けていない人は全体の約2割となっている。

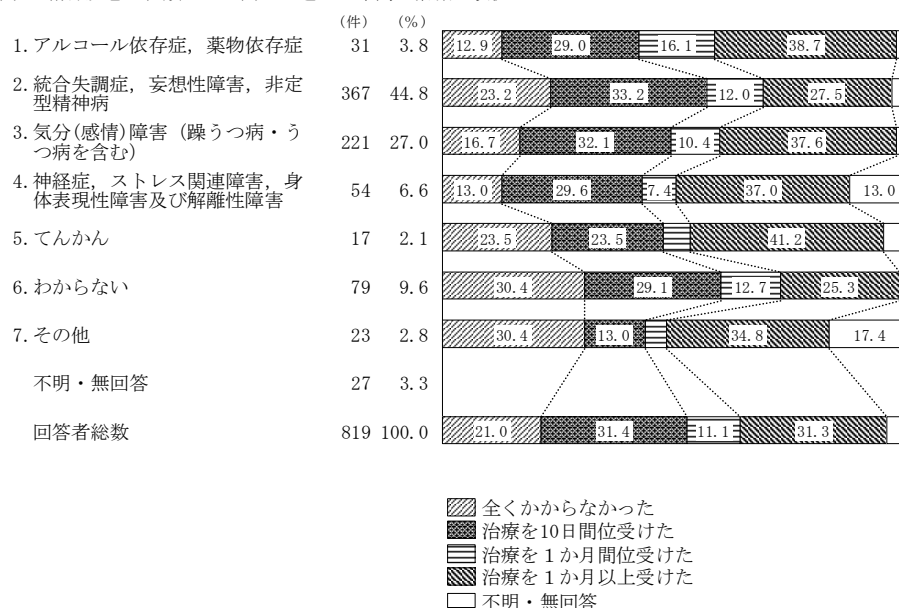
問23 過去1年間の治療の状況

(単位:%)	
	平成18年
全くかからなかった	21.0
治療を10日間位受けた	31.4
治療を1か月間位受けた	11.1
治療を1か月以上受けた	31.3
不明・無回答	5.3
合計	100.0
N	819



- ・ 精神疾患の種類との関係を見ると、治療を全く受けなかった人が相対的に多い疾患は「統合失調症、妄想性障害、非定型精神病」(23.2%)、「てんかん」(23.5%)であり、その他の疾患では、その比率が10%台となっている。

問7 精神疾患の種類 × 問23 過去1年間の治療の状況



(2) 慢性的な病気の状況

問24 あなたは現在、次の慢性的な病気にかかっていますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 「かかっていない」が28.3%であり、次いで「その他」が20.9%、「腰痛」が18.4%と続いている。なお、「その他」の具体的内容としては、「高脂血症」、「ぜん息」、「アレルギー疾患」、「アトピー性皮膚炎」など多様な疾患の記述が見られた。

問24 慢性的な病気の状況（複数回答3）

（単位：%）

	平成18年
高血圧症	8.4
糖尿病	9.8
慢性関節リウマチ	1.2
脳梗塞	1.3
心臓疾患	3.1
パーキンソン病	1.0
腎不全	0.5
神経痛	6.5
腰痛	18.4
その他	20.9
かかっていない	28.3
不明・無回答	27.5
合計	126.9
N	819

- ・ 精神疾患の種類と慢性的な病気の状況については、「アルコール依存症、薬物依存症」では「腰痛」が最も多く、「統合失調症、妄想性障害、非定型精神病」では「かかっていない」が、「気分（感情）障害（躁うつ病・うつ病含む）」では「その他」が、「神経症、ストレス関連障害、身体表現性障害及び解離性障害」では「かかっていない」や「糖尿病」の比率が高くなっている。

問7 精神疾患の種類 × 問24 慢性的な病気の状況（複数回答3）

上段：実数（件）
下段：横構成比（%）

問7	問24	慢性的な病気の状況（複数回答3）											不明・無回答	回答者総数
		1. 高血圧症	2. 糖尿病	3. 慢性関節リウマチ	4. 脳梗塞	5. 心臓疾患	6. パーキンソン病	7. 腎不全	8. 神経痛	9. 腰痛	10. その他	11. かかっていない		
精神疾患の種類	1. アルコール依存症、薬物依存症	1 3.2	4 12.9	0 0.0	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 12.9	12 38.7	6 19.4	5 16.1	10 32.3	31 100.0
	2. 統合失調症、妄想性障害、非定型精神病	23 6.3	32 8.7	5 1.4	7 1.9	8 2.2	7 1.9	2 0.5	23 6.3	63 17.2	71 19.3	122 33.2	102 27.8	367 100.0
	3. 気分（感情）障害（躁うつ病・うつ病を含む）	31 14.0	17 7.7	3 1.4	2 0.9	9 4.1	0 0.0	0 0.0	14 6.3	41 18.6	53 24.0	46 20.8	62 28.1	221 100.0
	4. 神経症、ストレス関連障害、身体表現性障害及び解離性障害	4 7.4	11 20.4	0 0.0	1 1.9	5 9.3	0 0.0	1 1.9	7 13.0	9 16.7	10 18.5	17 31.5	11 20.4	54 100.0
	5. てんかん	3 17.6	1 5.9	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	5 29.4	8 47.1	3 17.6	2 11.8	17 100.0
	6. わからない	5 6.3	11 13.9	0 0.0	0 0.0	2 2.5	0 0.0	1 1.3	1 1.3	12 15.2	10 12.7	28 35.4	21 26.6	79 100.0
	7. その他	0 0.0	2 8.7	0 0.0	0 0.0	1 4.3	0 0.0	0 0.0	1 4.3	4 17.4	9 39.1	4 17.4	7 30.4	23 100.0
	不明・無回答	2 7.4	2 7.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.7	0 0.0	1 3.7	5 18.5	4 14.8	7 25.9	10 37.0	27 100.0
	回答者総数	69 8.4	80 9.8	10 1.2	11 1.3	25 3.1	8 1.0	4 0.5	53 6.5	151 18.4	171 20.9	232 28.3	225 27.5	819 100.0

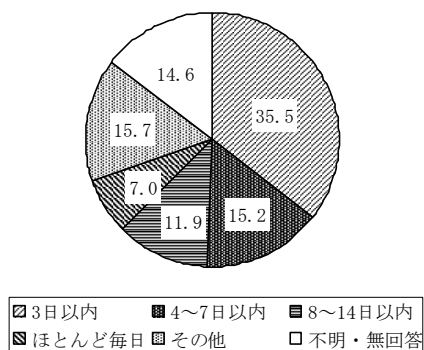
(3) 慢性的な病気の治療日数

問25-1 「問24」で、「1. 高血圧症」から「10. その他」までのいずれかをお答えの方 その病気の治療のため、1か月に何日ぐらい治療を受けに行っておられますか。（延べ日数でお答えください。）

- ・ 「3日以内」が35.5%、「4～7日以内」が15.2%、「8～14日以内」が11.9%と続いている。治療日数が1週間以内の比率が50.7%と半数を超えている。

問25-1 慢性的な病気の治療日数
(単位:%)

	平成18年
3日以内	35.5
4～7日以内	15.2
8～14日以内	11.9
ほとんど毎日	7.0
その他	15.7
不明・無回答	14.6
合計	100.0
N	369



(4) 夜間や休日における診療ニーズ

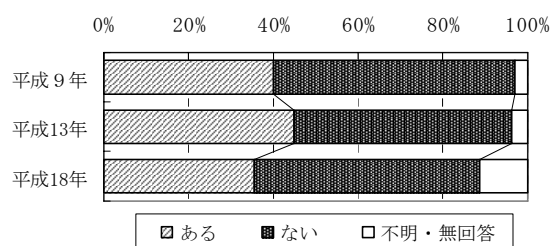
問26 夜間や休日に、精神的に具合が悪くなったときやてんかん発作にみまわれたときに、医師の診療を受けたくなくなったこと又は受けたことがありますか。

- ・ 今回調査では、「ある」が35.4%、「ない」が53.4%となっている。
- ・ 経年的には、前回調査と比較して「ある」の比率が低下しているが、「ない」の比率は大きく変わらない。

問26 夜間や休日における診療ニーズ

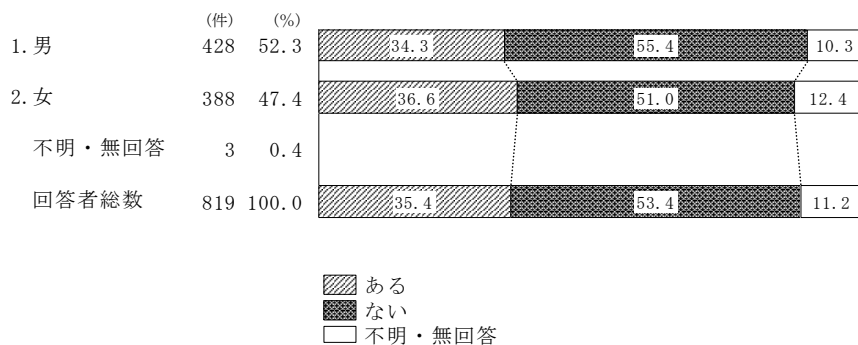
(単位:%)

	平成9年	平成13年	平成18年
ある	40.0	44.9	35.4
ない	57.0	51.4	53.4
不明・無回答	3.0	3.7	11.2
合計	100.0	100.0	100.0
N	663	751	819



- ・ 性別によって、大きな違いは見られない。

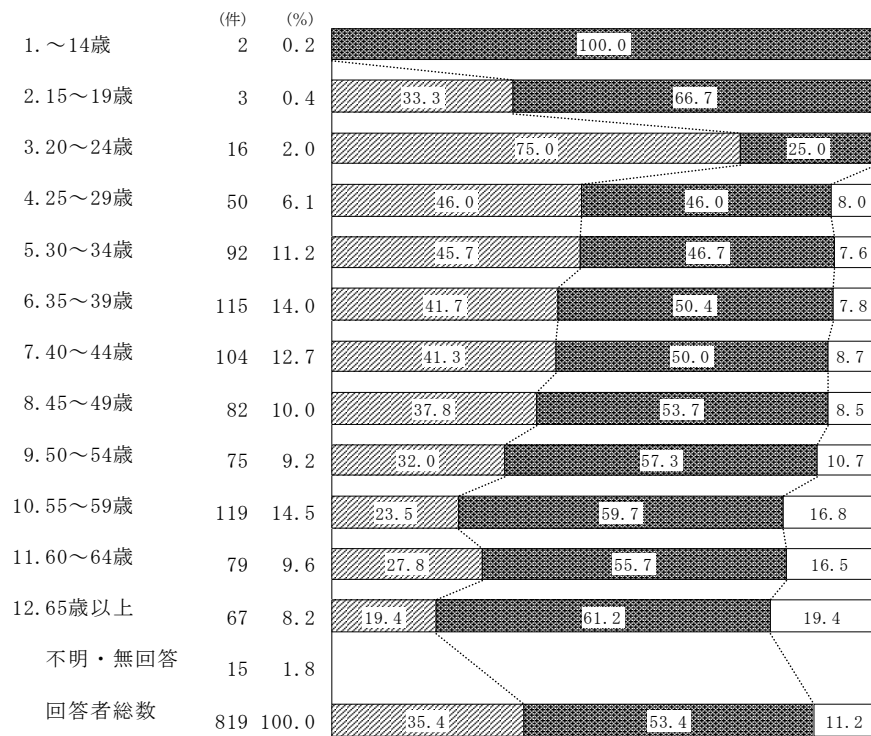
問2 性別 × 問26 夜間や休日における診療ニーズ






第8章 精神障害者生活状況調査（通院患者）結果

- ・ 年齢別では、年齢層が上がるにつれて「ある」の比率が低下し、「ない」の比率が増加する傾向が見られる。

問1 年齢 × 問26 夜間や休日における診療ニーズ



 ある
 ない
 不明・無回答

(5) 夜間や休日に診療を受けたくなくなったときの対処

問27-1（問26）で「1. ある」とお答えの方）そのようなとき、あなたはどうかされましたか。主なもの3つをお答えください。

- ・ 今回調査では、「かかりつけ医ですぐ受診」が42.8%で最も多く、次いで「服薬で我慢」が41.7%、「病院や診療所に電話」が33.8%と続いている。
- ・ 経年的には、「服薬で我慢」、「病院や診療所に電話」、「救急車で救急病院へ運搬」、「友達や家族に電話」などの項目で増加傾向が見られる。

問27-1 夜間や休日に診療を受けたくなくなったときの対処（複数回答3）*
（単位：%）

	平成9年	平成13年	平成18年
かかりつけ医ですぐ受診	45.7	38.6	42.8
かかりつけ医以外ですぐ受診	9.4	12.5	9.7
救急車で救急病院へ運搬	18.5	22.8	24.1
精神科救急情報センターへ電話*1	—	—	5.9
診てもらえず	11.7	4.5	4.1
開院まで我慢	42.3	18.4	19.7
服薬で我慢	24.9	27.9	41.7
病院や診療所に電話	29.4	30.0	33.8
友達や家族に電話	10.6	14.2	20.3
電話相談機関に電話	3.8	4.2	7.2
その他	5.3	8.3	13.1
不明・無回答	0.0	0.9	1.7
合計	201.6	182.2	224.1
N	265	337	290

* 平成18年以外は、あてはまるものをすべて選択

*1 平成18年追加項目

- ・ 世帯人数別では、一部の例外はあるものの、「1人」や「2人」の世帯では、他の世帯と比べ、「救急車で救急病院へ運搬」の比率が高く、「3人」、「4人」、「5人」などの家族形態では、「服薬で我慢」の比率が高くなっている。

問4 世帯の人数 × 問27-1 夜間や休日に診療を受けたくなくなったときの対処（複数回答3）

上段：実数（件）
下段：構構比（%）

問27-1		夜間や休日に診療を受けたくなくなったときの対処（複数回答3）											11.	不明・無回答	回答者総数
問4		1. かかりつけ医ですぐ受診	2. かかりつけ医以外ですぐ受診	3. 救急車で救急病院へ運搬	4. 精神科救急情報センターへ電話	5. 診てもらえず	6. 開院まで我慢	7. 服薬で我慢	8. 病院や診療所に電話	9. 友達や家族に電話	10. 電話相談機関に電話	その他			
世帯の人数	1. 1人	41 44.6	8 8.7	22 23.9	6 6.5	5 5.4	13 14.1	32 34.8	33 35.9	21 22.8	9 9.8	10 10.9	3 3.3	92 100.0	
	2. 2人	22 43.1	7 13.7	20 39.2	2 3.9	2 3.9	12 23.5	16 31.4	20 39.2	8 15.7	3 5.9	5 9.8	0 0.0	51 100.0	
	3. 3人	29 42.0	4 5.8	13 18.8	5 7.2	3 4.3	16 23.2	31 44.9	21 30.4	15 21.7	4 5.8	14 20.3	1 1.4	69 100.0	
	4. 4人	15 35.7	5 11.9	7 16.7	3 7.1	0 0.0	10 23.8	21 50.0	14 33.3	7 16.7	2 4.8	4 9.5	1 2.4	42 100.0	
	5. 5人	9 45.0	4 20.0	3 15.0	1 5.0	2 10.0	4 20.0	13 65.0	6 30.0	5 25.0	2 10.0	1 5.0	0 0.0	20 100.0	
	6. 6人以上	7 53.8	0 0.0	5 38.5	0 0.0	0 0.0	1 7.7	7 53.8	4 30.8	3 23.1	1 7.7	3 23.1	0 0.0	13 100.0	
	不明・無回答	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	3 100.0	
回答者総数	124 42.8	28 9.7	70 24.1	17 5.9	12 4.1	57 19.7	121 41.7	98 33.8	59 20.3	21 7.2	38 13.1	5 1.7	290 100.0		

7. 社会参加の状況

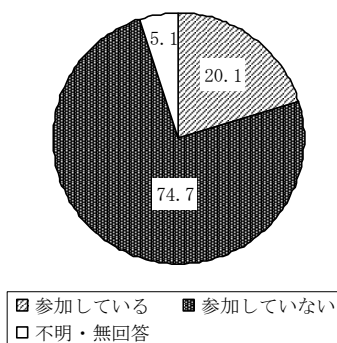
(1) スポーツや文化活動等の社会参加の状況

問28 あなたは、現在なんらかのスポーツや文化活動などに参加していますか。

- ・ 「参加している」が 20.1%、「参加していない」が 74.7%となっており、社会参加している人の比率は約2割となっている。

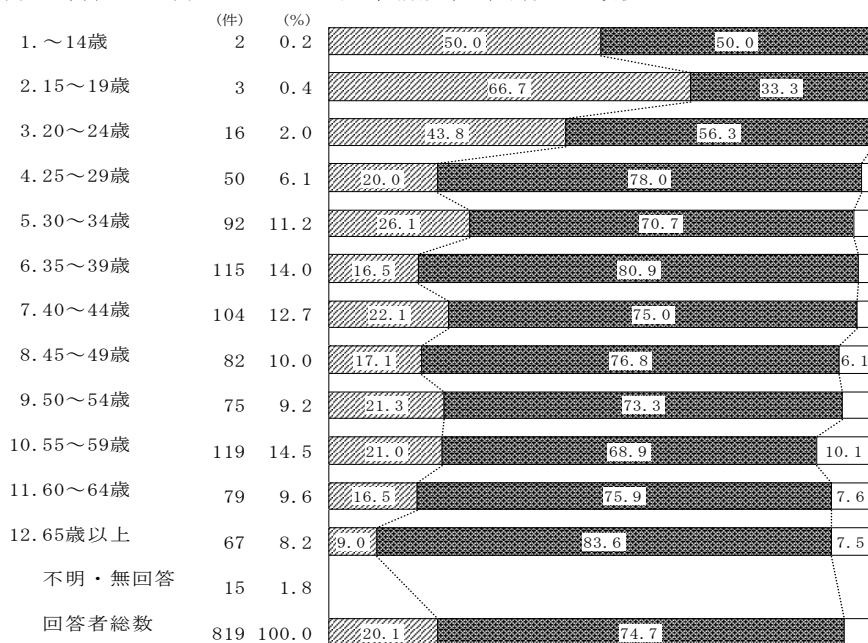
問28 スポーツや文化活動等の社会参加の状況
(単位:%)

	平成18年
参加している	20.1
参加していない	74.7
不明・無回答	5.1
合計	100.0
N	819



- ・ 年齢別に見ると、「20～24歳」では「参加している」が43.8%と半数近くを占めているが、それ以降の年代では「参加している」の比率が20%前後の値を示し、「65歳以上」では10%を下回っている。

問1 年齢 × 問28 スポーツや文化活動等の社会参加の状況



参加している
 参加していない
 不明・無回答

(2) 社会参加している活動の内容

問29-1 「問28」で「1. 参加している」とお答えの方) 現在, 参加している活動は何ですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・「スポーツ」が 54.5%で最も多く, 次いで「趣味・教養」が 49.7%, 「演劇や音楽」が 23.0%などと続いている。

問29-1 社会参加している活動の内容 (複数回答3)
(単位:%)

	平成18年
趣味・教養	49.7
スポーツ	54.5
演劇や音楽	23.0
旅行	13.9
施設見学や展示会など	18.8
研究会・研修会など	9.7
その他	15.8
不明・無回答	3.0
合 計	188.5
N	165

(3) 社会参加の際の利用施設

問29-2 「問28」で「1. 参加している」とお答えの方) 現在, 参加している活動のために次の施設を利用していますか。よく利用しているものを2つまでお答えください。

- ・「京都市障害者スポーツセンター」が 29.1%で最も多く, 次いで「その他」が 27.9%, 「近くの公園, 学校のグラウンド」が 23.6%と続いている。「その他」の具体的内容については, 「病院内の施設 (グラウンド, テニスコートなど)」, 「デイケア」, 「美術館」, 「ひとまち交流館」などの記述が見られた。

問29-2 社会参加の際の利用施設 (複数回答2)
(単位:%)

	平成18年
京都市障害者スポーツセンター	29.1
京都市障害者教養文化・体育会館	4.2
西京極総合運動公園・地域体育館	13.3
近くの公園, 学校のグラウンド	23.6
地域の文化会館	13.9
その他	27.9
不明・無回答	21.2
合 計	133.3
N	165

(4) 社会参加していない理由

問30-1 「問28」で「2. 参加していない」とお答えの方 参加していない理由はどのようなことですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 「病気」が 36.9%で最も多く、次いで「経済的なゆとりがない」が 36.4%、「参加する仲間がいない」が 26.3%、「時間的なゆとりがない」が 22.2%などと続いている。

問30-1 社会参加していない理由〈複数回答3〉

	(単位:%)
	平成18年
時間的なゆとりがない	22.2
経済的なゆとりがない	36.4
利用できる施設が少ない	9.0
外出が困難	20.1
介助者がいない	6.0
参加する仲間がいない	26.3
よい指導者がいない	6.9
周りの人に迷惑をかける	9.6
周りの人の眼が気になる	16.2
高齢	18.6
病気	36.9
その他	12.9
不明・無回答	6.0
合計	227.3
N	612

- ・ 精神疾患の種類との関係については、いずれの疾患においても、「経済的なゆとりがない」と「病気」の比率が高いが、「アルコール依存症、薬物依存症」では「時間的なゆとりがない」の比率も高い。

問7 精神疾患の種類 × 問30-1 社会参加していない理由〈複数回答3〉

上段：実数(件)
下段：横構成比(%)

精神疾患の種類	問7	問30-1 社会参加していない理由〈複数回答3〉												不明・無回答	回答者総数
		1. 時間的なゆとりがない	2. 経済的なゆとりがない	3. 利用できる施設が少ない	4. 外出が困難	5. 介助者がいない	6. 参加する仲間がいない	7. よい指導者がいない	8. 周りの人に迷惑をかける	9. 周りの人の眼が気になる	10. 高齢	11. 病気	12. その他		
精神疾患の種類	1. アルコール依存症, 薬物依存症	11 47.8	10 43.5	5 21.7	4 17.4	1 4.3	4 17.4	0 0.0	2 8.7	4 17.4	3 13.0	6 26.1	2 8.7	3 13.0	23 100.0
	2. 統合失調症, 妄想性障害, 非定型精神病	61 21.7	97 34.5	26 9.3	63 22.4	24 8.5	72 25.6	20 7.1	30 10.7	41 14.6	51 18.1	97 34.5	43 15.3	15 5.3	281 100.0
	3. 気分(感情)障害(躁うつ病・うつ病を含む)	32 19.5	65 39.6	13 7.9	33 20.1	10 6.1	48 29.3	15 9.1	10 6.1	28 17.1	34 20.7	65 39.6	19 11.6	7 4.3	164 100.0
	4. 神経症, ストレス関連障害, 身体表現性障害及び解離性障害	7 18.4	18 47.4	1 2.6	7 18.4	0 0.0	9 23.7	1 2.6	4 10.5	8 21.1	8 21.1	18 47.4	2 5.3	3 7.9	38 100.0
	5. てんかん	4 28.6	4 28.6	0 0.0	4 28.6	1 7.1	3 21.4	1 7.1	2 14.3	3 21.4	2 14.3	5 35.7	2 14.3	0 0.0	14 100.0
	6. わからない	16 27.1	20 33.9	6 10.2	6 10.2	0 0.0	12 20.3	3 5.1	3 5.1	7 11.9	10 16.9	21 35.6	11 18.6	6 10.2	59 100.0
	7. その他	3 21.4	4 28.6	1 7.1	3 21.4	1 7.1	6 42.9	0 0.0	2 14.3	2 14.3	2 14.3	6 42.9	0 0.0	3 21.4	14 100.0
	不明・無回答	2 10.5	5 26.3	3 15.8	3 15.8	0 0.0	7 36.8	2 10.5	6 31.6	6 31.6	4 21.1	8 42.1	0 0.0	0 0.0	19 100.0
	回答者総数	136 22.2	223 36.4	55 9.0	123 20.1	37 6.0	161 26.3	42 6.9	59 9.6	99 16.2	114 18.6	226 36.9	79 12.9	37 6.0	612 100.0

(5) 今後の社会参加希望の有無

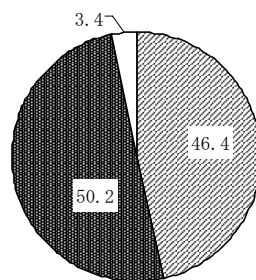
問30-2 「問28」で「2. 参加していない」とお答えの方は、あなたは今後、何らかのスポーツや文化活動に参加してみたいと思いますか。

- ・ 「参加してみたい」が46.4%、「参加したくない」が50.2%となっている。

問30-2 今後の社会参加希望の有無

(単位:%)

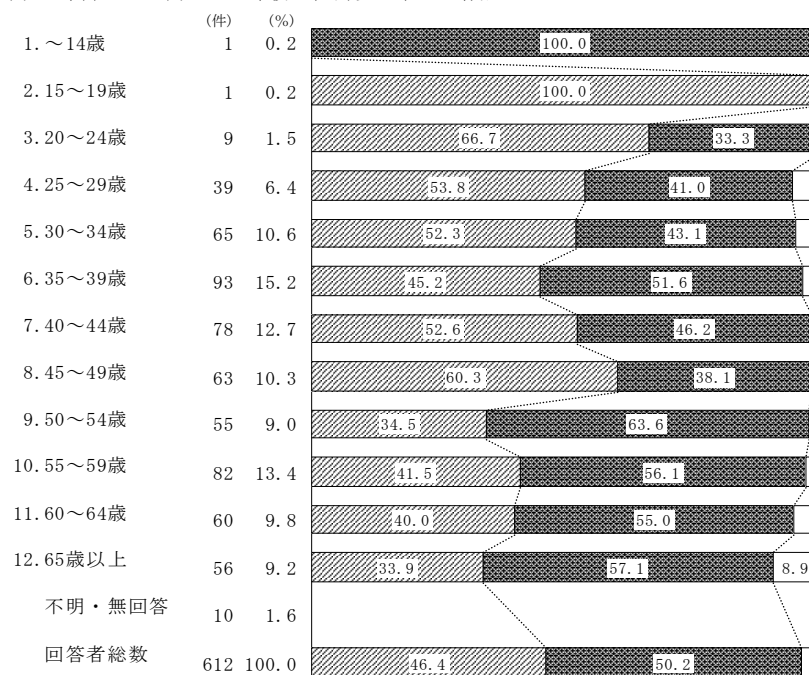
	平成18年
参加してみたい	46.4
参加したくない	50.2
不明・無回答	3.4
合計	100.0
N	612



■ 参加してみたい ■ 参加したくない □ 不明・無回答

- ・ 年齢別では、全体的な傾向として、「参加してみたい」の比率は、おおむね50歳未満の場合は、50%を超えているのに対し、50歳以上の場合は、50%を下回っており、年齢が高くなると、参加意欲が低下している状況がわかる。

問1 年齢 × 問30-2 今後の社会参加希望の有無



■ 参加してみたい ■ 参加したくない □ 不明・無回答

(6) 社会参加してみたい活動の種類

問30-3-1（「問30-2」で「1. 参加してみたい」とお答えの方）参加してみたい活動は何ですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・「趣味・教養」が68.3%、「スポーツ」が54.6%、「旅行」が50.0%、「演劇や音楽」が47.2%などと続いている。

問30-3-1 社会参加してみたい活動の種類〈複数回答3〉
(単位:%)

	平成18年
趣味・教養	68.3
スポーツ	54.6
演劇や音楽	47.2
旅行	50.0
施設見学や展示会など	19.7
研究会・研修会など	9.9
その他	5.6
不明・無回答	1.4
合計	256.7
N	284

- ・年齢別では、「60歳未満」では「60歳以上」と比べて、「趣味・教養」、「スポーツ」、「施設見学や展示会など」の比率が高くなっている。「60歳以上」では「旅行」、「その他」の比率が高い。

問1 年齢 × 問30-3-1 社会参加してみたい活動の種類〈複数回答3〉

上段：実数（件）
下段：構成比（%）

問30-3-1		社会参加してみたい活動の種類〈複数回答3〉								回答者総数
問1		1. 趣味・教養	2. スポーツ	3. 演劇や音楽	4. 旅行	5. 施設見学や展示会など	6. 研究会・研修会など	7. その他	不明・無回答	
年齢	1. 60歳未満	173 73.3	133 56.4	115 48.7	114 48.3	50 21.2	23 9.7	11 4.7	2 0.8	236 100.0
	2. 60歳以上	17 39.5	18 41.9	17 39.5	24 55.8	6 14.0	5 11.6	5 11.6	2 4.7	43 100.0
	不明・無回答	4 80.0	4 80.0	2 40.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0
	回答者総数	194 68.3	155 54.6	134 47.2	142 50.0	56 19.7	28 9.9	16 5.6	4 1.4	284 100.0

8. 災害時の対応

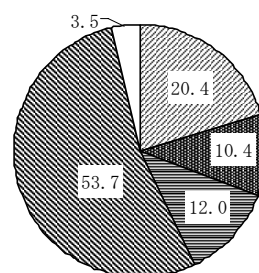
(1) 避難場所の認知

問31 あなたは火事や地震などの災害時に避難する場所として、あなたの地域に「一時避難場所」や「広域避難場所」があることを知っていますか。

- ・「一時、広域の両方を知っている」が 20.4%、「両方とも知らない」が 53.7%となっている。

問31 避難場所の認知

(単位:%)	
平成18年	
一時、広域の両方を知っている	20.4
「一時避難場所」だけ知っている	10.4
「広域避難場所」だけ知っている	12.0
両方とも知らない	53.7
不明・無回答	3.5
合計	100.0
N	819



一時、広域の両方を知っている
 「一時避難場所」だけ知っている
 「広域避難場所」だけ知っている
 両方とも知らない
 不明・無回答

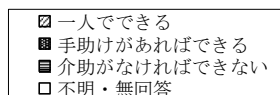
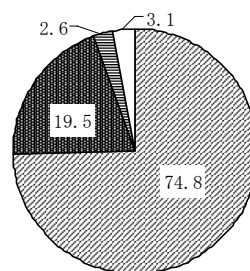
(2) 災害時の単独避難の可否

問32 あなたは、災害時、家の外に逃げることができますか。

- ・ 「一人でできる」が74.8%で最も多く、次いで、「手助けがあればできる」が19.5%、「介助がなければできない」が2.6%となっている。「一人でできない（手助けがあればできる＋介助がなければできない）」の比率は22.1%となる。

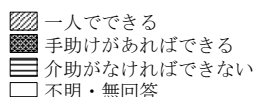
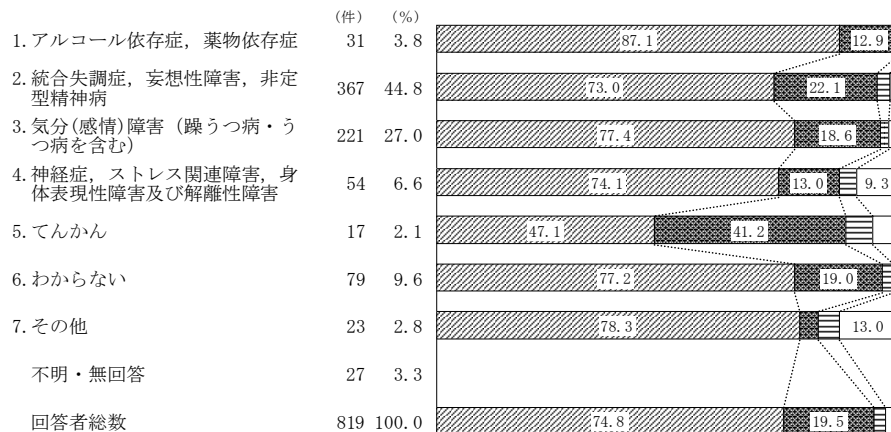
問32 災害時の単独避難の可否

	平成18年
一人でできる	74.8
手助けがあればできる	19.5
介助がなければできない	2.6
不明・無回答	3.1
合計	100.0
N	819



- ・ 精神疾患の種類別に見ると、「一人でできない（手助けがあればできる＋介助がなければできない）」の比率は「てんかん」において特に高くなっている。

問7 精神疾患の種類 × 問32 災害時の単独避難の可否



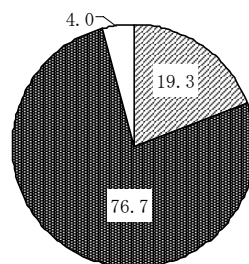
(3) 自主防災組織の認知

問33 災害に巻き込まれた時、地域の住民同士で助け合うことを目的とした「自主防災組織」が、市内の各地域で結成されていることを、あなたは知っていますか。

- ・「知っている」は19.3%と約2割、「知らない」が76.7%となっている。

問33 自主防災組織の認知

(単位:%)	
	平成18年
知っている	19.3
知らない	76.7
不明・無回答	4.0
合計	100.0
N	819



知っている
 知らない
 不明・無回答

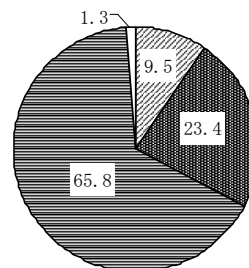
(4) 自主防災組織への参加状況

問34-1 (「問33」で「1. 知っている」とお答えの方) あなたは、自主防災組織の活動に参加されていますか。

- ・「参加していない」が65.8%、「誘われれば参加している」が23.4%、「積極的に参加している」が9.5%となっており、「参加している」人は全体の32.9%と約3割の比率となっている。

問34-1 自主防災組織への参加状況

(単位:%)	
	平成18年
積極的に参加している	9.5
誘われれば参加している	23.4
参加していない	65.8
不明・無回答	1.3
合計	100.0
N	158



積極的に参加している
 誘われれば参加している
 参加していない
 不明・無回答

(5) 災害時の不安

問35 あなたは、災害に巻き込まれたとき、どのようなことに不安を感じますか。主なものを2つまでお答えください。

- ・「医療器具の使用・服薬ができなくなる」が 32.6%で最も多く、次いで「初期消火ができない」が 31.6%、「避難所での滞在」が 17.9%、「自分で避難ができない」が 16.6%などと続いている。

問35 災害時の不安〈複数回答2〉

(単位:%)

	平成18年
自分で避難ができない	16.6
初期消火ができない	31.6
医療器具の使用・服薬ができなくなる	32.6
避難所での滞在	17.9
情報の取得	15.1
その他	9.0
特になし	24.1
不明・無回答	9.6
合計	156.7
N	819

9. 精神保健福祉施策への要望など

(1) 悩みごとの相談先

問36 あなたは、障害のことなどで悩んだり心配したとき、また福祉サービスに関する情報を知りたいとき、どのようなところに相談されますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・「医療機関」が75.7%で最も多く、次いで「市の専門機関」が42.4%、「家族・知り合い」が40.3%、「社会福祉施設職員」が15.9%、「障害者地域生活支援センター」が11.7%などと続いている。

問36 悩みごとの相談先〈複数回答3〉

(単位:%)	
	平成18年
市の専門機関	42.4
医療機関	75.7
障害のある市民の団体	5.3
民生委員・児童委員	7.2
社会福祉施設職員	15.9
障害者地域生活支援センター	11.7
ホームヘルパー	5.5
ボランティア	2.3
学校・会社	1.6
家族・知り合い	40.3
その他	9.4
不明・無回答	5.9
合 計	223.1
N	819

(2) 今後の相談内容

問37 あなたは、今後どのような相談をしたいと思いますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・「医療・健康のこと」が66.2%で最も多く、次いで「仕事のこと」が36.8%、「収入のこと」が33.3%、「日常生活での悩みのこと」が31.0%と続いている。

問37 今後の相談内容〈複数回答3〉

(単位:%)	
	平成18年
医療・健康のこと	66.2
教育のこと	4.5
仕事のこと	36.8
住まいのこと	22.5
収入のこと	33.3
福祉サービスの利用・介助のこと	19.4
日常生活での悩みのこと	31.0
災害時の避難方法などのこと	8.3
財産の管理や利用について	9.5
その他	5.6
不明・無回答	8.4
合 計	245.5
N	819

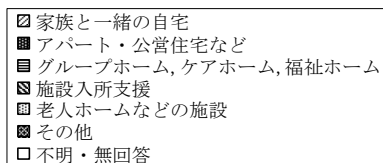
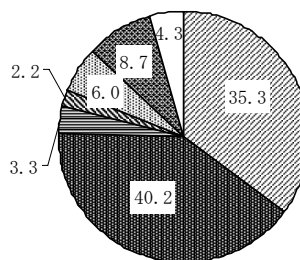
(3) 希望する生活の場

問38-1 「問37」で「4. 住まいのこと」とお答えの方あなたは、どのようなところで暮らしていきたいと思いますか。主なものを1つお答えください。

・「アパート・公営住宅など」が40.2%で最も多く、次いで「家族と一緒に自宅」が35.3%となっており、これら以外の施設については、いずれも10%未満と少なくなっている。

問38-1 希望する生活の場

(単位:%)	
	平成18年
家族と一緒に自宅	35.3
アパート・公営住宅など	40.2
グループホーム, ケアホーム, 福祉ホーム	3.3
施設入所支援	2.2
老人ホームなどの施設	6.0
その他	8.7
不明・無回答	4.3
合計	100.0
N	184



(4) 利用を希望する施設・障害者施策

問39 あなたは、どのような施設や障害者施策の利用を希望されますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 「デイ・ケア」が44.0%、「アパート・公営住宅」が21.2%、「障害者地域生活支援センター」が18.9%、「老人ホームなどの施設」が16.2%、「こころのふれあい交流サロン」が13.1%、「ホームヘルプサービス」が12.3%などと続いており、社会復帰を目指す施設や居住に関する施設への要望が高くなっている。

問39 利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）

（単位：%）

	平成18年
グループ活動	9.5
デイ・ケア	44.0
こころのふれあい交流サロン	13.1
障害者地域生活支援センター	18.9
ホームヘルプサービス	12.3
ショートステイ	6.8
ガイドヘルパー	5.1
就労移行支援	12.1
通所授産施設、福祉工場、共同作業所など	9.3
自立訓練	9.8
施設入所支援	4.8
グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム	3.5
アパート・公営住宅	21.2
老人ホームなどの施設	16.2
スポーツ施設	11.2
サークル活動、文化活動などのできる施設	9.8
その他	6.7
不明・無回答	12.8
合計	227.2
N	819

第8章 精神障害者生活状況調査（通院患者）結果

- 精神疾患の種類別では、状況にかかわらず「デイ・ケア」の比率が最も多くなっている。

問7 精神疾患の種類 × 問39 利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）

問39		利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）									
問7		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.
		グループ活動	デイ・ケア	こころのふれあい交流サロン	障害者地域生活支援センター	ホームヘルプサービス	ショートステイ	ガイドヘルパー	就労移行支援	通所授産施設、福祉工場、共同作業所など	自立訓練
精神疾患の種類	1. アルコール依存症、薬物依存症	3 9.7	14 45.2	2 6.5	6 19.4	1 3.2	0 0.0	1 3.2	4 12.9	0 0.0	3 9.7
	2. 統合失調症、妄想性障害、非定型精神病	34 9.3	163 44.4	41 11.2	72 19.6	49 13.4	25 6.8	25 6.8	49 13.4	44 12.0	43 11.7
	3. 気分(感情)障害（躁うつ病・うつ病を含む）	20 9.0	96 43.4	32 14.5	43 19.5	25 11.3	17 7.7	6 2.7	28 12.7	18 8.1	19 8.6
	4. 神経症、ストレス関連障害、身体表現性障害及び解離性障害	5 9.3	24 44.4	9 16.7	10 18.5	7 13.0	3 5.6	1 1.9	6 11.1	3 5.6	4 7.4
	5. てんかん	5 29.4	9 52.9	3 17.6	4 23.5	4 23.5	0 0.0	3 17.6	2 11.8	3 17.6	2 11.8
	6. わからない	10 12.7	37 46.8	12 15.2	12 15.2	11 13.9	5 6.3	5 6.3	7 8.9	7 8.9	7 2.5
	7. その他	1 4.3	9 39.1	4 17.4	2 8.7	2 8.7	4 17.4	0 0.0	2 8.7	0 0.0	5 21.7
	不明・無回答	0 0.0	8 29.6	4 14.8	6 22.2	2 7.4	2 7.4	1 3.7	1 3.7	1 3.7	2 7.4
	回答者総数	78 9.5	360 44.0	107 13.1	155 18.9	101 12.3	56 6.8	42 5.1	99 12.1	76 9.6	80 9.3

上段：実数(件)
下段：横構成比(%)

問39		利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）									
問7		11.	12.	13.	14.	15.	16.	17.	18.	19.	20.
		施設入所支援	グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム	アパート・公営住宅	老人ホームなどの施設	スポーツ施設	サークル活動、文化活動などのできる施設	その他	不明・無回答	回答者総数	
精神疾患の種類	1. アルコール依存症、薬物依存症	0 0.0	4 12.9	7 22.6	4 12.9	5 16.1	3 9.7	2 6.5	6 19.4	31 100.0	
	2. 統合失調症、妄想性障害、非定型精神病	20 5.4	13 3.5	76 20.7	56 15.3	35 9.5	35 9.5	21 5.7	44 12.0	367 100.0	
	3. 気分(感情)障害（躁うつ病・うつ病を含む）	8 3.6	8 3.6	50 22.6	41 18.6	29 13.1	30 13.6	16 7.2	28 12.7	221 100.0	
	4. 神経症、ストレス関連障害、身体表現性障害及び解離性障害	5 9.3	1 1.9	9 16.7	7 13.0	5 9.3	1 1.9	5 9.3	11 20.4	54 100.0	
	5. てんかん	0 0.0	1 5.9	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	1 5.9	17 100.0	
	6. わからない	3 3.8	1 1.3	20 25.3	12 15.2	11 13.9	6 7.6	8 10.1	7 8.9	79 100.0	
	7. その他	0 0.0	1 4.3	6 26.1	5 21.7	3 13.0	3 13.0	1 4.3	4 17.4	23 100.0	
	不明・無回答	3 11.1	0 0.0	4 14.8	8 29.6	4 14.8	2 7.4	0 0.0	4 14.8	27 100.0	
	回答者総数	39 4.8	29 3.5	174 21.2	133 16.2	92 11.2	80 9.8	55 6.7	105 12.8	819 100.0	

(5) 福祉施策への要望

問40 あなたにとって、今後特に必要とされるもの、または強く望みたいことがらがありますか。次のうちから最も近いものを5つまでお答えください。

- ・ 「公的年金等所得保障の充実」が46.4%で最も多く、次いで「精神障害やてんかんへの理解」が42.5%、「障害者医療等医療制度の拡充」が39.9%などとなっており、所得保障や医療費負担の軽減などの経済的支援ニーズ、病気への社会的理解の促進などへの期待が強く表れている。

問40 福祉施策への要望〈複数回答5〉

(単位:%)

	平成18年
精神障害やてんかんへの理解	42.5
保健所の相談や訪問活動の充実	22.8
各種の相談事業の充実	23.7
医療体制の充実	24.3
障害者医療等医療制度の拡充	39.9
公的年金等所得保障の充実	46.4
日常生活支援の充実	14.3
金銭管理や福祉サービスの利用支援	8.3
ガイドヘルパーなどの充実	6.1
障害状況に応じた職業訓練	15.6
障害のある人の雇用促進	27.7
交通運賃割引制度の充実	27.0
交流活動の充実	10.7
スポーツ、文化活動等に参加したい	16.0
障害のある人の権利を守る施策	28.3
家族のリフレッシュ事業	18.2
その他	5.5
不明・無回答	8.9
合計	386.3
N	819

- ・ 前回調査までの結果を見ると、比率の高い上位3位は「年金制度などの所得保障の充実」、 「交通運賃の割引制度の充実」、 「精神障害やてんかんに対する理解を深める活動」であり、これらの傾向は今回調査の結果ともほぼ一致している。所得保障などの経済的支援ニーズ、病気への社会的理解の促進などへの期待は、経年的に見ても重要な項目として意識されていることが分かる。

第8章 精神障害者生活状況調査（通院患者）結果

〈参考資料〉過去の調査
精神保健福祉分野に望むこと（複数回答3）

（単位：%）

	平成9年	平成13年
精神障害やてんかんに対する理解を深める活動	24.6	22.8
保健所の相談や訪問活動の充実	14.0	16.2
救急医療など医療体制の充実	24.3	19.3
年金制度などの所得保障の充実	44.6	46.9
ホームヘルパーの派遣など日常生活支援の充実	15.5	13.6
グループホームなど住まいの場の確保	7.8	8.7
通所授産施設・共同作業所など働く場の充実	17.6	12.9
働くための職業訓練施設の充実	13.9	19.0
交通運賃の割引制度の充実	23.4	25.0
仲間やボランティア、近隣の人達との交流活動の場	16.9	17.7
とくに望むことはない	15.5	14.8
その他	2.9	2.8
不明・無回答	-	2.4
合計	221.0	222.1
N	663	751

- 精神疾患の種類別に見ると、状況にかかわらず「公的年金等所得保障の充実」や「精神障害やてんかんへの理解」などの比率が高くなっている。

問7 精神疾患の種類 × 問40 福祉施策への要望（複数回答5）

問40		福祉施策への要望（複数回答5）									
問7		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.
		精神障害やてんかんへの理解	保健所の相談や訪問活動の充実	各種の相談事業の充実	医療体制の充実	障害者医療等医療の充実	公的年金等所得保障の充実	日常生活支援の充実	金銭管理や福祉サービスの利用支援	ガイドヘルパーなどの充実	障害状況に応じた職業訓練
精神疾患の種類	1. アルコール依存症、薬物依存症	11 35.5	10 32.3	10 32.3	9 29.0	9 29.0	15 48.4	4 12.9	3 9.7	1 3.2	4 12.9
	2. 統合失調症、妄想性障害、非定型精神病	155 42.2	84 22.9	81 22.1	83 22.6	139 37.9	177 48.2	60 16.3	33 9.0	21 5.7	62 16.9
	3. 気分(感情)障害(躁うつ病・うつ病を含む)	102 46.2	45 20.4	51 23.1	49 22.2	103 46.6	107 48.4	31 14.0	18 8.1	15 6.8	33 14.9
	4. 神経症、ストレス関連障害、身体表現性障害及び解離性障害	21 38.9	15 27.8	19 35.2	13 24.1	22 40.7	25 46.3	2 3.7	5 9.3	3 5.6	8 14.8
	5. てんかん	14 82.4	5 29.4	4 23.5	6 35.3	7 41.2	9 52.9	2 11.8	2 11.8	3 17.6	2 11.8
	6. わからない	30 38.0	21 26.6	25 31.6	26 32.9	33 41.8	29 36.7	13 16.5	4 5.1	4 5.1	13 16.5
	7. その他	9 39.1	3 13.0	2 8.7	7 30.4	6 26.1	6 26.1	4 17.4	1 4.3	1 4.3	4 17.4
	不明・無回答	6 22.2	4 14.8	2 7.4	6 22.2	8 29.6	12 44.4	1 3.7	2 7.4	2 7.4	2 7.4
	回答者総数	348 42.5	187 22.8	194 23.7	199 24.3	327 39.9	380 46.4	117 14.3	68 8.3	50 6.1	128 15.6

上段：実数(件)
下段：横構成比(%)

問40		福祉施策への要望（複数回答5）								回答者総数
問7		11.	12.	13.	14.	15.	16.	17.		
		障害のある人の雇用促進	交通運賃割引制度の充実	交流活動の充実	スポーツ、文化活動等に参加したい	障害のある人の権利を守る施策	家族のリフレッシュ事業	その他	不明・無回答	
精神疾患の種類	1. アルコール依存症、薬物依存症	6 19.4	12 38.7	6 19.4	5 16.1	6 19.4	7 22.6	1 3.2	3 9.7	31 100.0
	2. 統合失調症、妄想性障害、非定型精神病	113 30.8	92 25.1	34 9.3	56 15.3	114 31.1	57 15.5	20 5.4	34 9.3	367 100.0
	3. 気分(感情)障害(躁うつ病・うつ病を含む)	61 27.6	67 30.3	26 11.8	37 16.7	62 28.1	51 23.1	6 2.7	20 9.0	221 100.0
	4. 神経症、ストレス関連障害、身体表現性障害及び解離性障害	16 29.6	16 29.6	5 9.3	8 14.8	17 31.5	7 13.0	2 3.7	6 11.1	54 100.0
	5. てんかん	2 11.8	2 11.8	2 11.8	3 17.6	5 29.4	3 17.6	2 11.8	0 0.0	17 100.0
	6. わからない	16 20.3	18 22.8	10 12.7	11 13.9	14 17.7	13 16.5	4 13.9	4 5.1	79 100.0
	7. その他	6 26.1	7 30.4	3 13.0	7 30.4	6 26.1	7 30.4	2 8.7	2 8.7	23 100.0
	不明・無回答	7 25.9	7 25.9	2 7.4	4 14.8	8 29.6	4 14.8	1 3.7	4 14.8	27 100.0
	回答者総数	227 27.7	221 27.0	88 10.7	131 16.0	232 28.3	149 18.2	45 5.5	73 8.9	819 100.0